



屋外複合一体型ネットワークカメラ

形名

NC-7300/7310/7300(L)/7310(L)

据付工事説明書

(販売店・工事店さま用)

安全のために必ずお守りください	2
据付上のお願い	2
構成	4
据付場所の選定	5
据付工事例	6
据付時のご注意	7
アイボルトの取り外し	8
安全ワイヤの取り付け	9
電源用コネクタの接続	11
LAN用コネクタの接続	12
LAN用コネクタの取り外し	14
本体据付	16
本体へのコネクタの接続	17
LED照明灯の角度調節	18
据付工事後の確認	19
試運転	19
設定について	20



警告

- 据付工事は、必ず販売店または専門の工事店が実施してください。
間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- 据付工事部品は必ず付属部品および指定の部品をご使用ください。
当社指定部品を使用しないと故障の原因となります。

SM-Y8650B

©2019 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHT RESERVED



この据付工事説明書は再生紙を使用しております
2019年1月

安全のために必ずお守りください

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この工事説明書及び取扱説明書の「安全のために必ずお守りください」の欄をよく読んで、注意事項を必ず守ってください。また、以下の事項は、安全のために必ず守ってください。

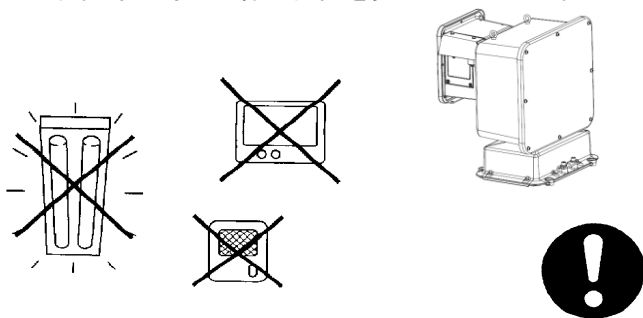
1. 工事されるときは、接続機器類の電源プラグを必ず抜いてから行ってください。万一の感電防止のためにお願いします。
2. 工具は適合したものを使用してください。
3. 据付場所が高い場合は、頑丈な据付台（手すり付き）から作業してください。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	禁止		指示を守る
---	----	---	-------

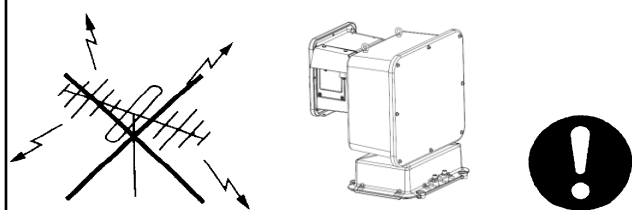
据付上のお願ひ

カメラケーブルの配線に際して電灯線やテレビのアンテナ配線に近づけて引き回したり、インターホンやモニタの近くにある場合、映像やインターホンに雑音が入る場合があります。その時は配線や位置を変えてください。

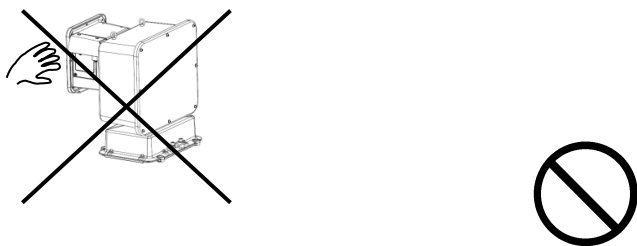


テレビやラジオの送信アンテナ、モータやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、雑音が入ったり映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、カメラケーブルに薄鋼電線管を設けて通電してください。

2系統以上のシステム構成のときは、システム毎に電線管を設けてください。

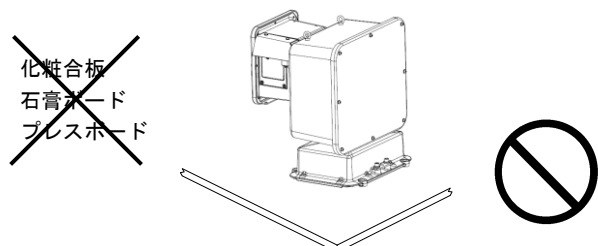


カメラの据付時や据付後、カメラに手をかけたり、ぶらさがったり、足でふまないでください。外力により回転台部の水平、垂直軸が回転し、挟まったりバランスを崩すことがあります。

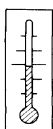


据付場所はカメラの質量に十分耐える所を選んでしっかり固定してください。化粧合板、石膏ボード、プレスボード等への取付けはしないで下さい。

また、車載など振動の激しい場所には設置しないでください。



カメラを設置される周囲の温度は、 $-20^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$ 、湿度は90%以下（結露しない場所）でご使用ください。特に調理室やボイラー室など温度や湿度の高い所での使用は、性能を低下させますので離れた位置でご使用ください。また、電源ユニットの使用電源は90V \sim 110Vでお使いください。





警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの

重塩害地域で使用しない

本機が腐食し、落下によるけがや事故の原因となります。



安全ワイヤを取り付ける

安全ワイヤを必ず取り付けてください。



重塩害地域・塩害地域の目安

■ 重塩害地域^{※3} ▨ 塩害地域 □ 一般地域

(1) 直接潮風が当たるところ

地域	海岸からの距離				
	300m	500m	1km	1～2km以内	2～7km以内
① 沖縄・離島 ^{※1}	重塩害				
② 瀬戸内海沿岸	重塩害		塩害		一般地域
③ 北海道・東北(日本海側) ^{※2}	重塩害		塩害		一般地域
④ その他の地域	重塩害		塩害		一般地域

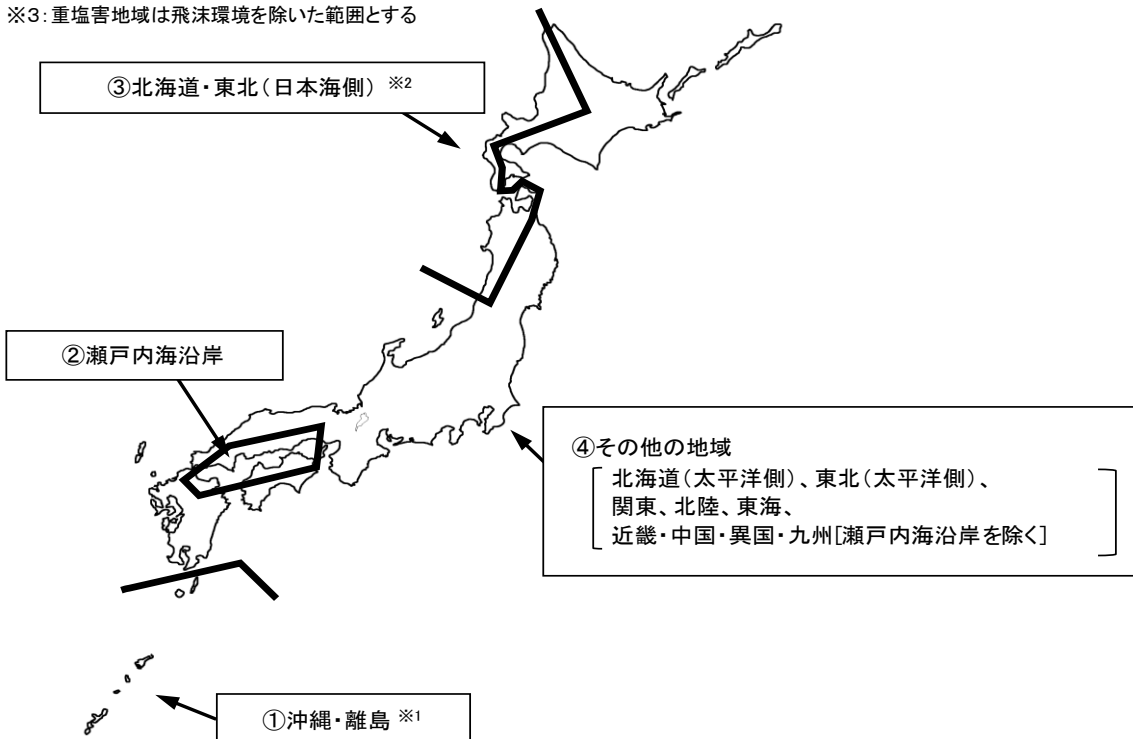
(2) 直接潮風が当たらないところ

地域	海岸からの距離				
	300m	500m	1km	1～2km以内	2～7km以内
① 沖縄・離島 ^{※1}	重塩害				
② 瀬戸内海沿岸	塩害		一般地域		
③ 北海道・東北(日本海側) ^{※2}	重塩害		塩害		一般地域
④ その他の地域	重塩害		塩害		一般地域

※1: 北海道・本州・四国・九州を除く、すべての島

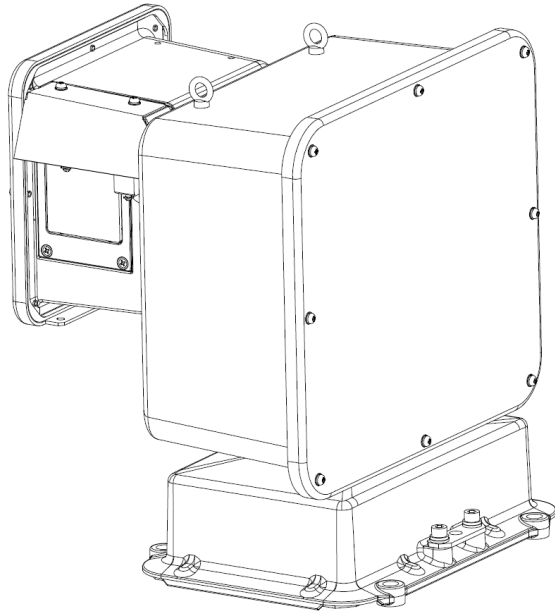
※2: 北海道(松前町)～(稚内市) / 東北(青森県東通村)～(山形県鶴岡市)

※3: 重塩害地域は飛沫環境を除いた範囲とする

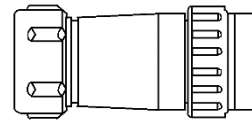


構成

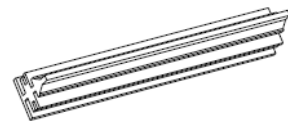
- | | | |
|-----|--|---|
| 1. | NC-7300/NC-7310/NC-7300(L)/NC-7310(L) 形カメラ本体 | 1 |
| 2. | 電源用コネクタ (3P) | 1 |
| 3. | ワイパブレード (予備) | 1 |
| 4. | 盗難防止ボルト (M8) | 1 |
| 5. | ツーホールネジ (M3) | 1 |
| 6. | RJ45 コネクタ (LAN コネクタ) | 2 |
| 7. | LAN ケーブル取外し治具 | 1 |
| 8. | 安全ワイヤ | 2 |
| 9. | 取付け金具 (シャックル) | 4 |
| 10. | 取扱説明書/保証書 | 1 |



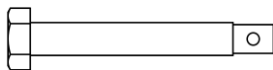
NC-7300/NC-7310/NC-7300(L)/NC-7310(L) 本体
(図は NC-7300)



電源用コネクタ (3P)
(刻印 NJW-203-PF12、CV 2mm2-3C 用)



ワイパブレード



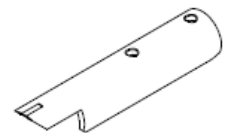
盗難防止ボルト (M8)



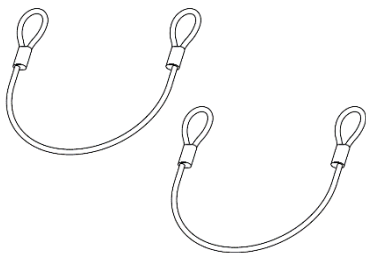
ツーホールネジ (M3)



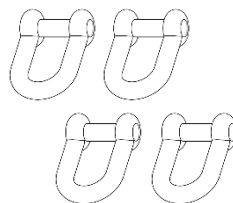
RJ45 コネクタ × 2 個
(予備 1 個を含む)



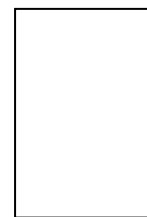
LAN ケーブル取外し治具



安全ワイヤ × 2 本



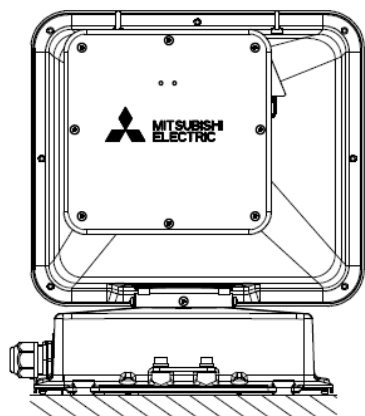
取付け金具 × 4 個
(シャックル)



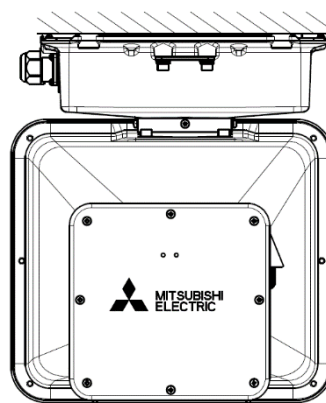
取扱説明書/保証書 (本書)

据付場所の選定

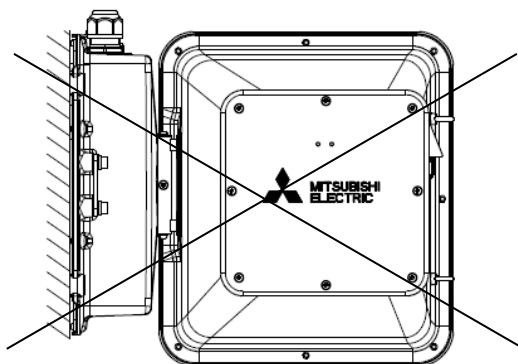
- 据付場所により、下図のような取付けができます。



NC-7300/NC-7300(L)の場合
(据置き)



NC-7310/NC-7310(L)の場合
(天吊り)



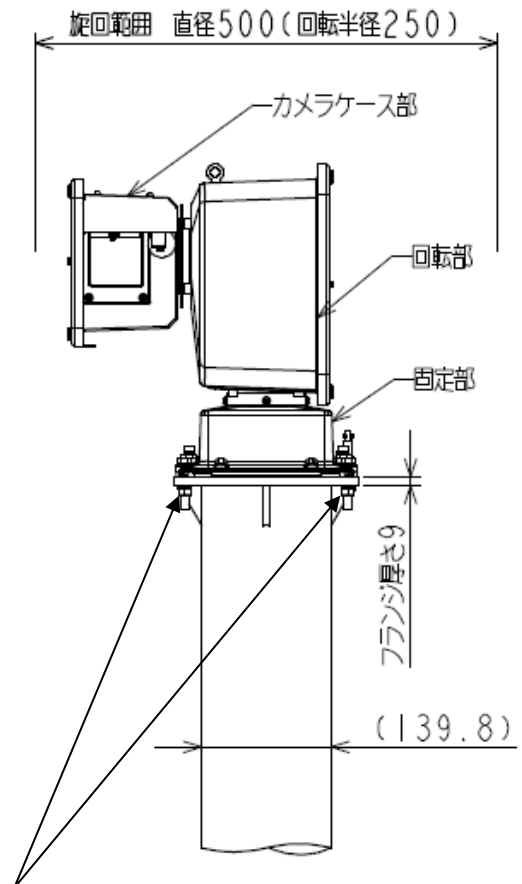
壁面には取付けできません

据付工事例

一般構造用炭素鋼管（Φ139.8mm）に据付ける場合を図に示します。

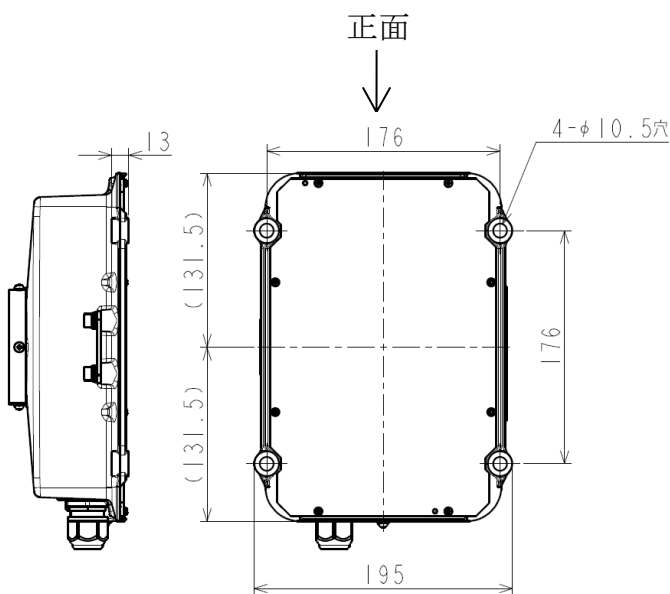
【警告】

1. 据付時や作業時、カメラケース部に手をかけたりロープをかけたりしないで下さい。
 - * カメラケース可動部が外力により回転し、挟まって怪我をしたり、バランスをくずす事があります。
2. 旋回範囲内に障害物がないことを確認してください。
 - * カメラは水平 360° の範囲で動作します。
3. ポールへの据付が終了するまで電源を入れないでください。
 - * カメラは電源が入り次第、原点位置検出のための回転動作を開始します。
 - * カメラは制御端末からの操作により、高速で回転動作をします。
4. カメラの電源が入っている時は旋回範囲内に入らないでください。
 - * 旋回範囲内に入ると危険です。
5. 盗難防止ボルトを使用する場合は、フランジ厚さを20mm以下としてください。
6. 据付後、カメラ本体を調整する時は、必ず電源を切ってから行ってください。



(据付用ネジ選定例)

ポール上部のフランジ厚が9mm、バネワッシャー（厚さ2mm）、ワッシャー（1.5mm）を介して取付ける時の推奨ネジは M8×40mm（4カ所）
（参考：締付トルク 11～14N・m）



[単位：mm]

回転台底面 取付け穴位置

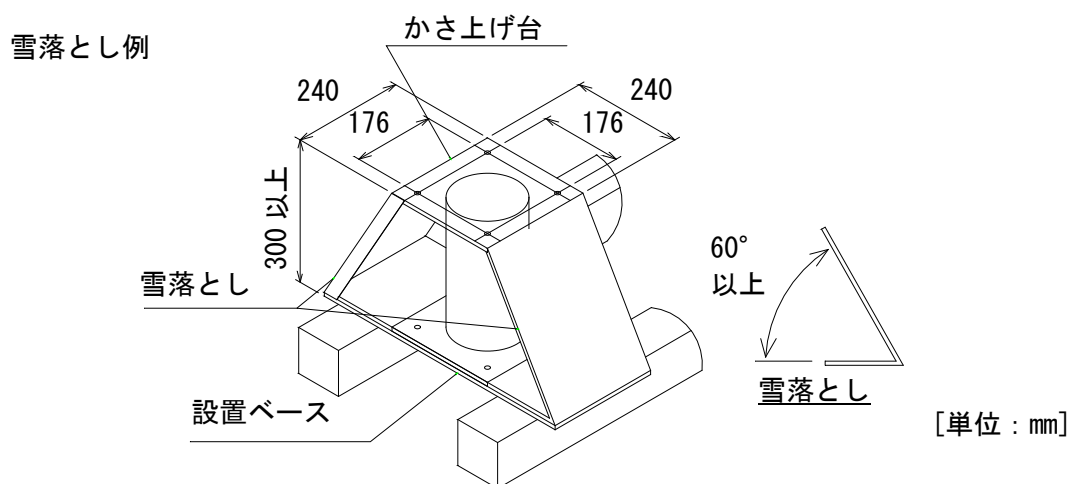


警告

- カメラケース部に手をかけない、ロープをかけない
- 必ず電源を切って作業すること。
- 回転中の機器に触らない、旋回範囲内に入らない。

据付時のご注意

- 外部より AC100V 電源を供給すると、直後に原点位置検出のため回転台が自動で回転しますので、旋回範囲に近づかないように注意してください。
- AC100V 電源ラインに NFB を取り付けるなど機器への電源を遮断できるように工事してください。
- カメラまたは回転台の電源を切には AC100V 供給を停止してください。
- カメラ筐体及び回転台、ベース部を開けないでください。防水が確保できなくなります。
- 雪の多い場所で使用する場合、回転台底部より広い設置ベースに据付けると、設置ベースへの積雪によりカメラが雪に埋もれる場合があります。設置ベースへの積雪を減らすため、かさ上げ台および雪落としをつけてください。

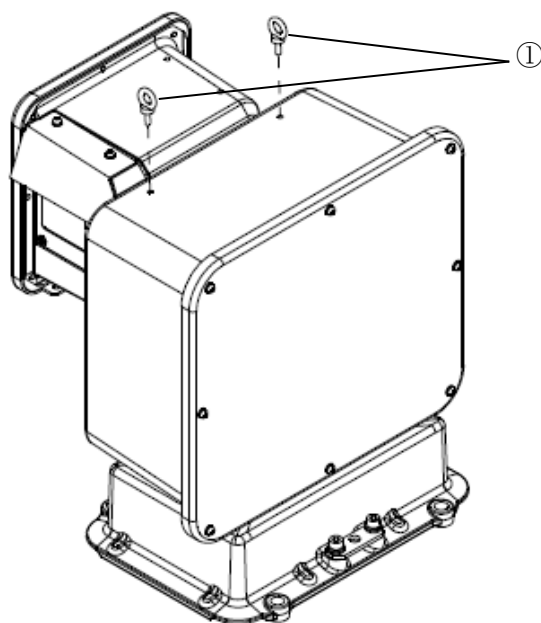


アイボルトの取り外し

- アイボルトは設置工事終了時に取り外してください。
- アイボルトは工場戻しの際に使用しますので、大切に保管ください。

アイボルト各部名称

①アイボルト

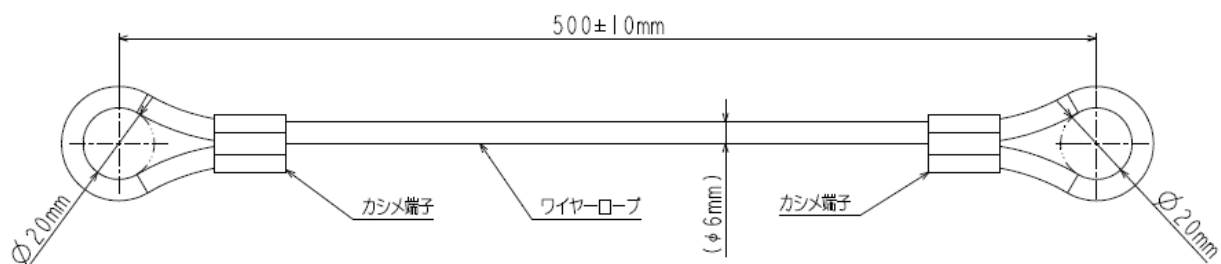


アイボルト取り外し方法

1. アイボルト①2本を取外す。

安全ワイヤの取り付け

安全ワイヤ



仕様

1. ワイヤロープ材質 : SUS304 (素線径 ϕ 0.4、SC(7×9))
2. ワイヤの破断強度 : 23kN 以上
3. カシメ端子部材質 : SUS304
4. カシメ部引張り強度 : 16kN 以上 (両端の環部に荷重を印可した際の引張り強度)

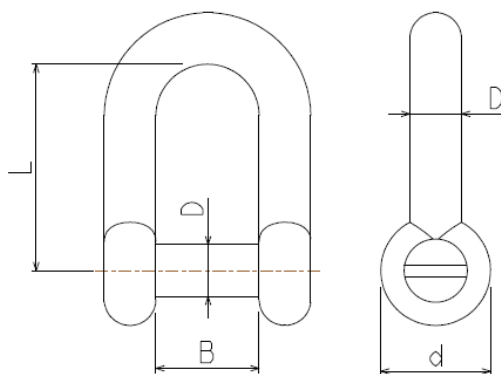
注意

全長 (500±10mm) は指示寸法より長くしないで下さい。長くした場合は落下時の衝撃荷重が大きくなり、ワイヤ取り付け部の破損、ワイヤ破断の恐れがあります。

取付け金具 (シャックル)

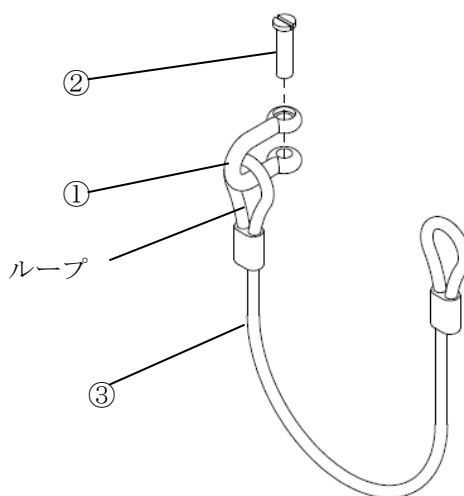
仕様

1. 材質 : SUS304
2. 寸法
 - D: 8mm
 - L: 32mm
 - B: 16mm
 - d: 16mm
3. 使用荷重 : 2.45kn



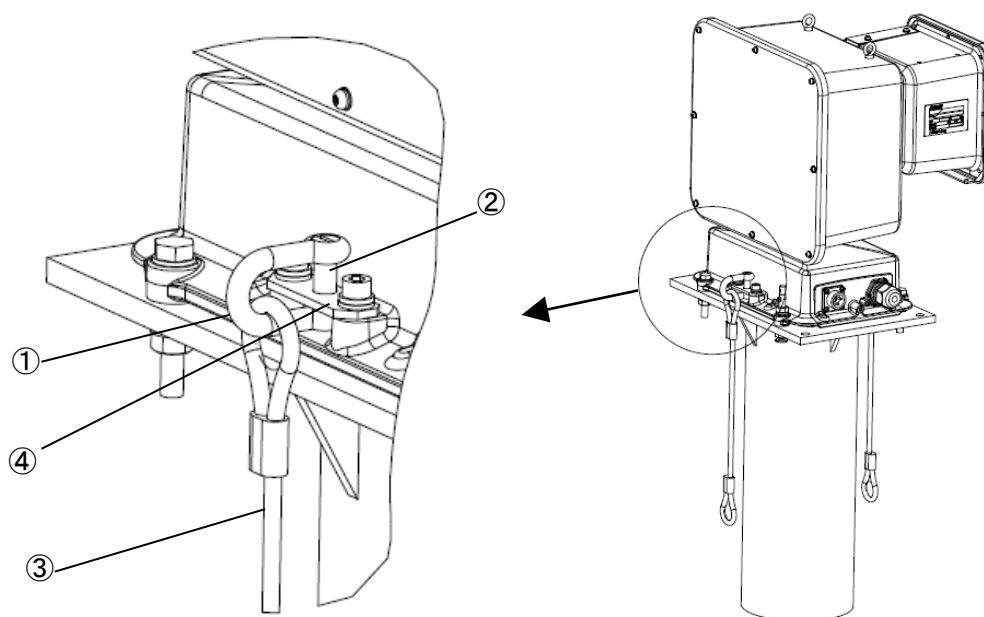
安全ワイヤ各部名称

- ① 取付け金具(シャックル) 本体
- ② 取付け金具(シャックル) ボルトピン
- ③ 安全ワイヤ
- ④ 安全ワイヤ用の取付け金具固定穴

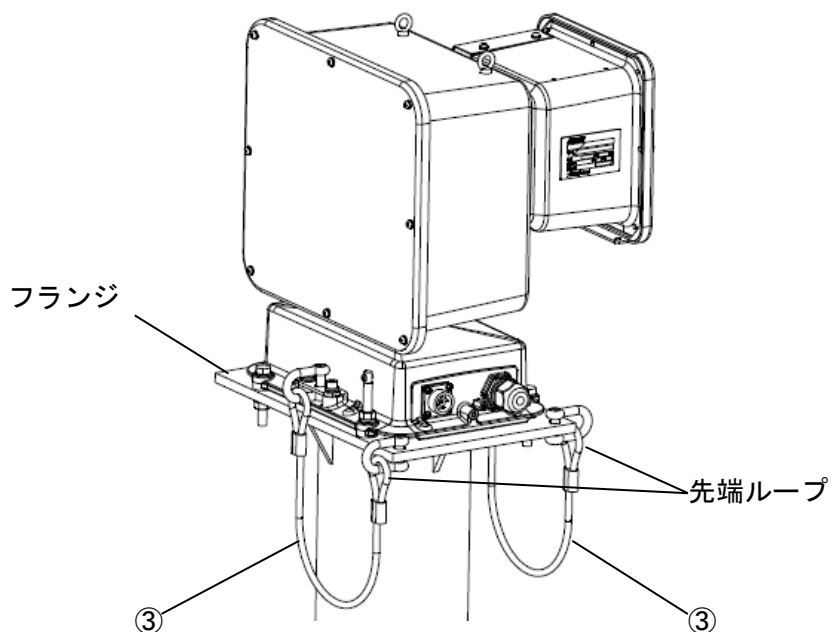


安全ワイヤ取り付け方法

1. 取付け金具(シャックル)ボルトピン②を抜き、取付け金具(シャックル)本体①に安全ワイヤ③の片側のループを通す。



2. 取付け金具(シャックル)本体①を安全ワイヤ用の取付け金具固定穴④へ取付け金具(シャックル)ボルトピン②で固定する。対面側も同様に固定する。(取付け金具(シャックル)ボルトピン②の緩みがないことをご確認ください。)



3. 安全ワイヤ③の先端ループをフランジへ固定する。
(必要に応じて取付け金具(シャックル)本体①等をご使用ください。)

電源用コネクタの接続

(1) AC100V 及び、FG を接続してください。接続は下表を参照してください。

ピン番号	接続	備考
1	AC100V (N)	ニュートラル側
2	AC100V (L)	ライブ側
3	FG	対地アース

(2) 接続が終了したら、下記要領で電源用コネクタを取付けてください。

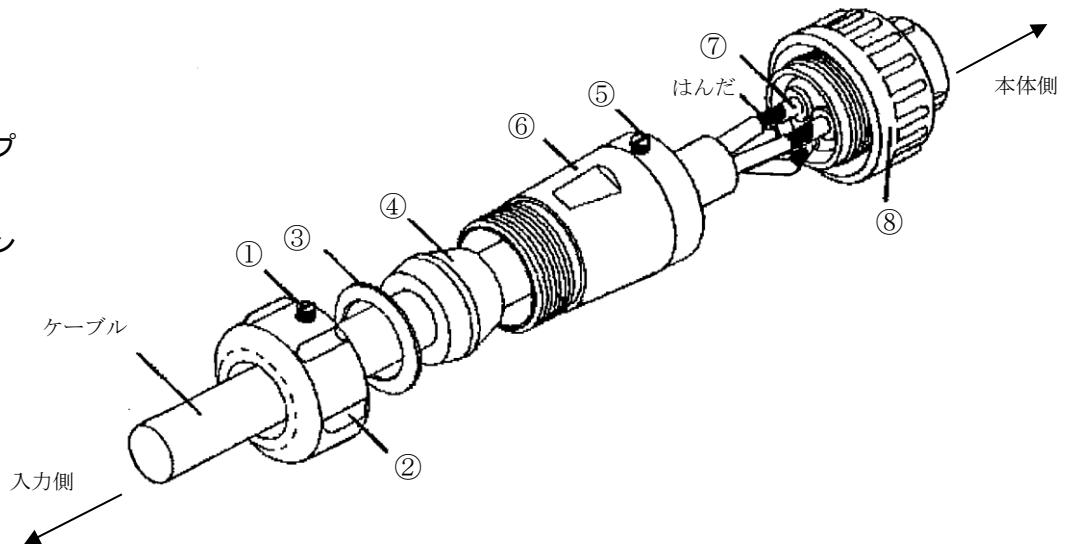
(3) 本体への接続は、本体へのコネクタの接続（16 ページ）を参照してください。

注意

- 1) ピン番号はコネクタに明記されています。間違えないように配線してください。
(入力側もピン番号に合わせ、間違えないように配線してください)
- 2) FG は必ず接続してください。接続しないと、事故及び故障の原因になります。また、雷等の外来ノイズなどに対して機器の故障が起こりやすくなりますので、接地工事を必ず実施してください。
- 3) 必ず、適合ケーブルをお使いください。（適合ケーブル外径：φ10.6～φ12.5mm）

コネクタ各部名称

- ① 止めネジ A
- ② ケーブルクランプ
- ③ ワッシャー
- ④ ケーブルパッキン
- ⑤ 止めネジ B
- ⑥ エンドベル
- ⑦ コンタクト
- ⑧ バレル



コネクタ接続方法

1. 止めネジ B⑤をゆるめ、バレル⑧をエンドベル⑥から取り出す。（反時計方向に回す）
2. 止めネジ A①をゆるめ、ケーブルクランプ②、ワッシャー③、ケーブルパッキン④を取り出す。
3. 導体部 7mm、絶縁体部 11mm（シース端から導体端まで 18mm）の端末処理を施したケーブルへ、ケーブルクランプ②、ワッシャー③、ケーブルパッキン④、エンドベル⑥の順序で通す。
4. コンタクト⑦へケーブルの導体をはんだ付けする。（はんだ付けは 3ヶ所必要です。またはんだは「日本アルミット製 KR-19-RMA Sn60」相当の共晶はんだを使用してください。）
5. バレル⑧へエンドベル⑥をしっかりとネジ込み、止めネジ B⑤で固定する。
6. エンドベル⑥へケーブルパッキン④、ワッシャー③を収めケーブルクランプ②で十分締め付ける。
7. ケーブルクランプ②のゆるみを防ぐため止めネジ A①をネジ込んで止める。

◎各ネジの締め付けトルク	止めネジ A, B	0.2～0.3N・m
	ケーブルクランプ	1.5～2.0N・m
	エンドベル	1.0～1.5N・m

LAN 用コネクタの接続

- (1) 防水ブッシュを通したあと、必ず Cat5e 相当の屋外 LAN ケーブル (φ7.8~φ11.8) に LAN コネクタ推奨品※を下記表のピンアサインで接続ください。指定以外のケーブルでは、防水不良を起こすおそれがあります。

※ LAN コネクタには付属品または下記の推奨品をご使用下さい。推奨品を使用しない場合、LAN ケーブル取外し治具 (付属品) で LAN ケーブルが取り外せなくなります。

型名: MP588 (ノンシールドタイプ) または MPS588 (シールドタイプ)、メーカー: PANDUIT

※RJ45 コネクタを LAN ケーブルに圧着する際は以下の専用工具を推奨します。

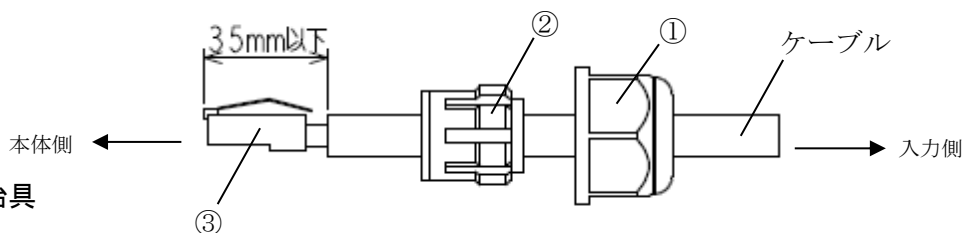
圧着工具…型名: MPT5-8AS、メーカー: PANDUIT

ピン番号	信号略称
1	TXD+
2	TXD-
3	RXD+
4	(空き)
5	(空き)
6	RXD-
7	(空き)
8	(空き)

- (2) 本体への接続は、下記「コネクタ接続方法」を参照してください。

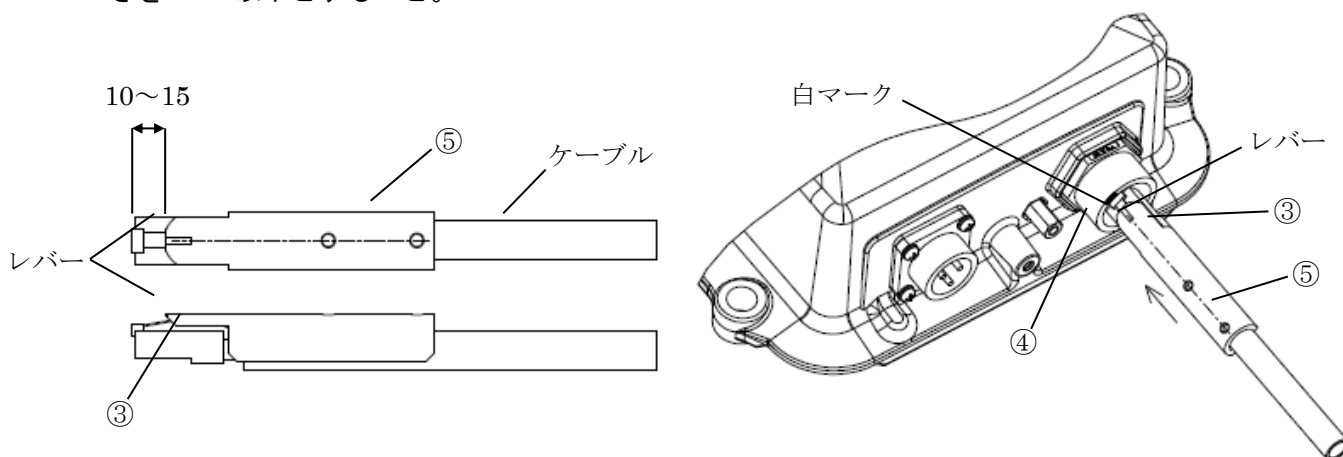
各部名称

- ① シールナット
- ② シールユニット
- ③ RJ45
- ④ ブッシュ
- ⑤ LAN ケーブル取外し治具

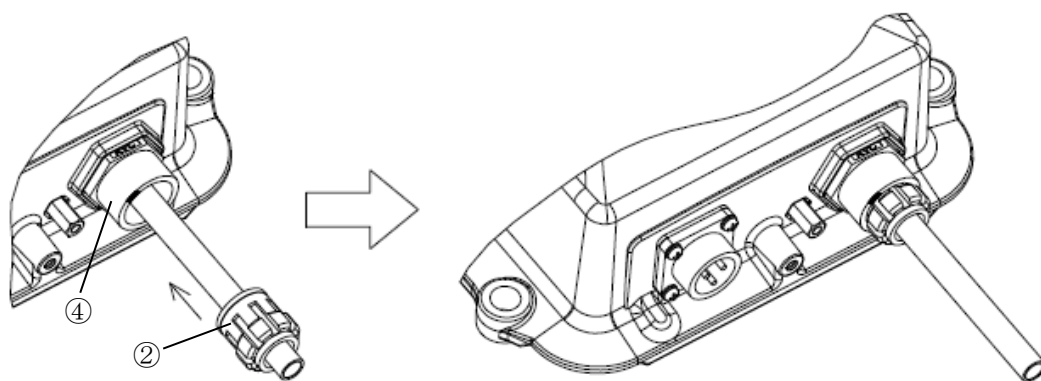


コネクタ接続方法

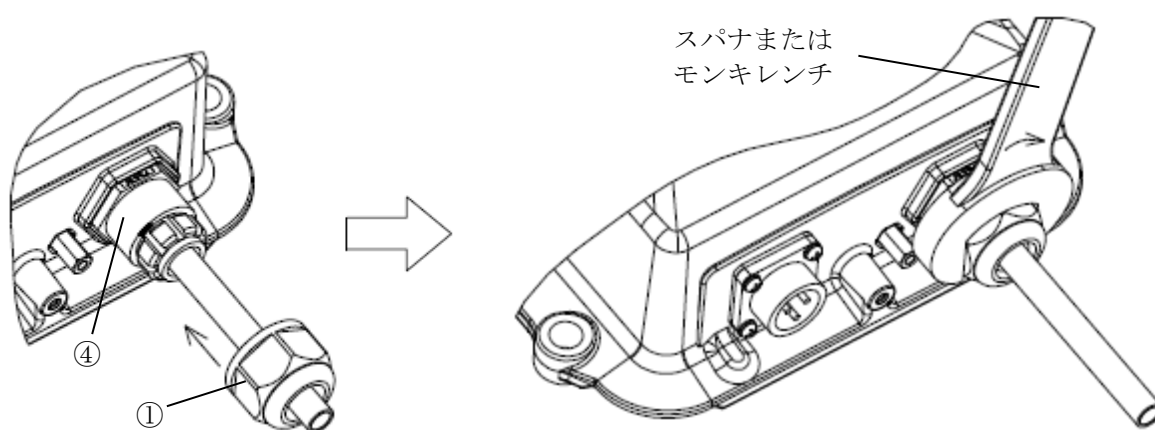
1. カメラ本体よりシールナット①、シールユニット②を取り外す。
2. 屋外 LAN ケーブルにシールナット①、シールユニット②の順で通す。
3. 屋外 LAN ケーブルの外被を剥いて RJ45③をしめる。この時、RJ45③先端からケーブル外被までの長さを 35mm 以下とすること。



4. ケーブルへ LAN ケーブル取外し⑤を図示のようにセットし、RJ45③のレバーをブッシュ④端部の白マークに合わせ、ブッシュ④本体に挿入する。挿入後、LAN ケーブル取外し⑤だけを引き抜く。ケーブルを 20N の力で引っ張り、抜けないことを確認する。(ケーブルは 20N を超える力で引っ張らないこと。)

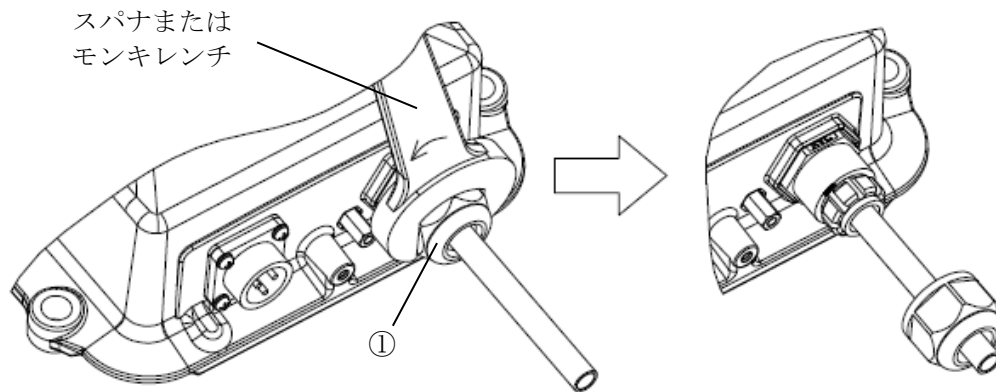


5. シールユニット②をブッシュ④へ挿入する。

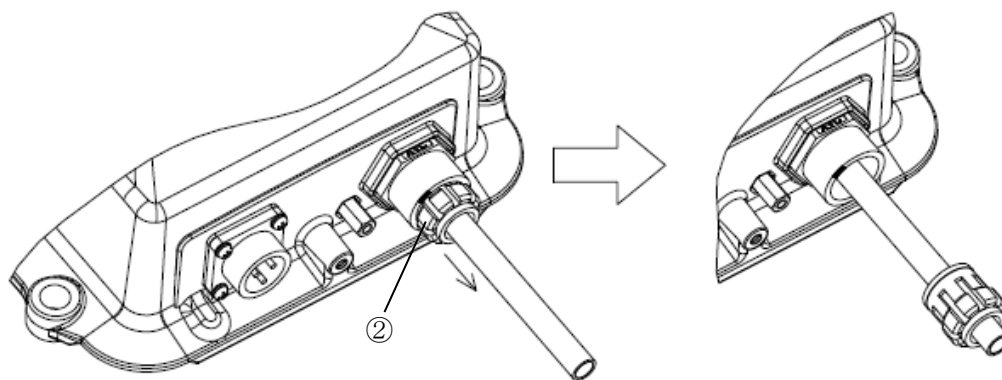


6. シールナット①をブッシュ④に取付け、スパナまたはモンキレンチで締め付ける。(推奨締め付けトルク : $1.5 \pm 0.15 \text{N} \cdot \text{m}$)

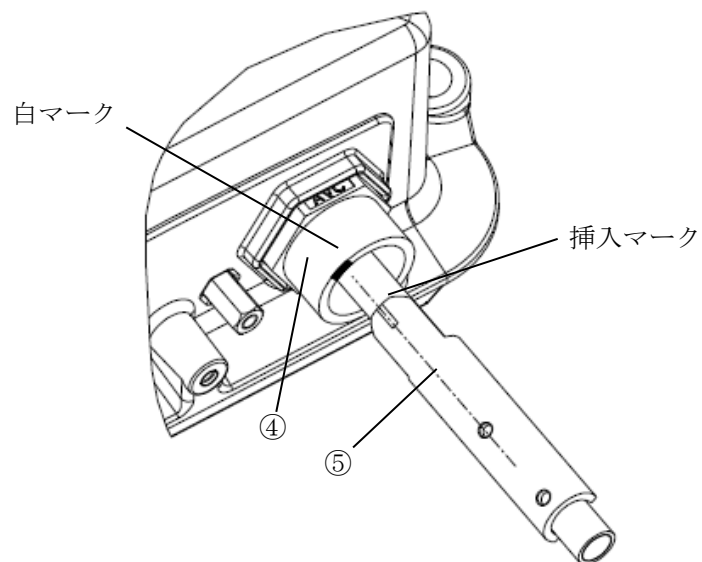
LAN 用コネクタの取り外し



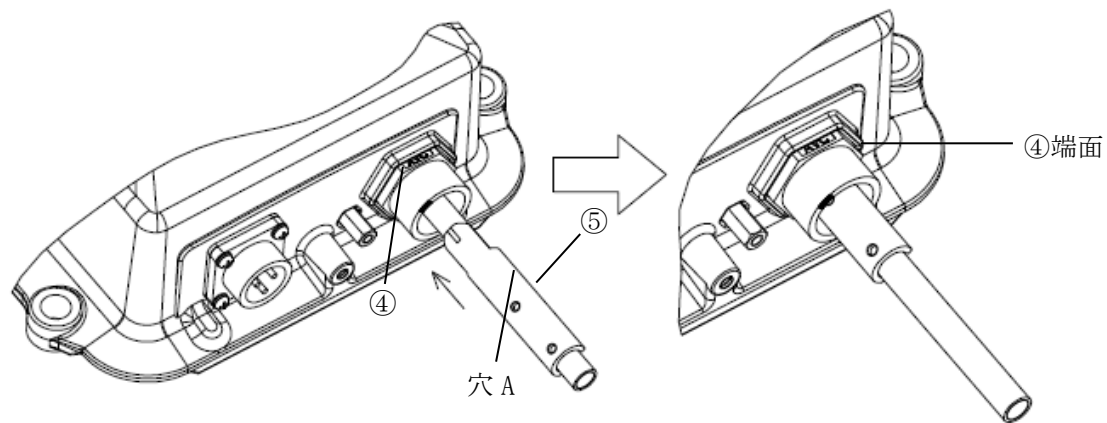
1. シールナット①をスパナまたはモンキレンチで緩めて外す。



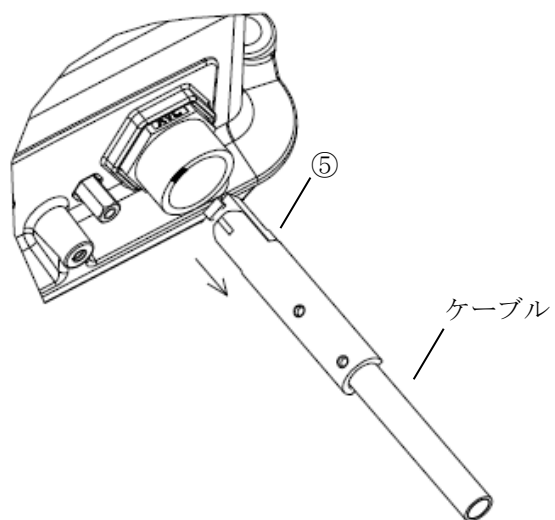
2. シールユニット②を引っ張って外す。



3. LAN ケーブル取外し⑤をケーブルに被せるようにセットする。その際 LAN ケーブル取外し⑤の回転方向位置はブッシュ④端部の白マークを LAN ケーブル取外し⑤の挿入マークに合わせる。



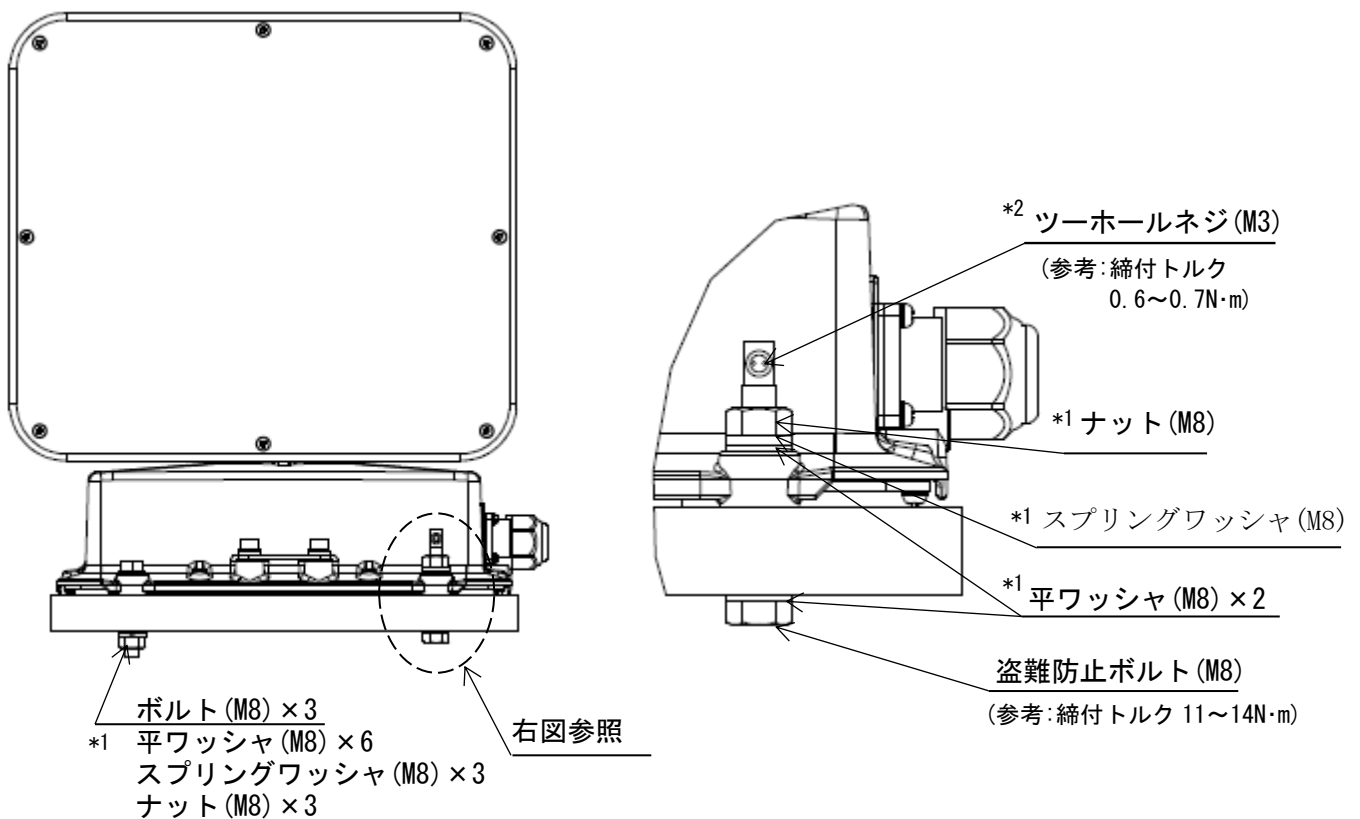
4. ケーブルをガイドにして LAN ケーブル取外し⑤をブッシュ④の内部へ挿入する。その際 LAN ケーブル取外し⑤の穴 A がブッシュ④の端面に隠れるまで挿入する。



5. LAN ケーブル取外し⑤とケーブルを一緒に引き抜く。

本体据付

- 下図を参照して、本体を据付けてください。
- 盗難防止ボルト・2つ穴付ネジは本体に付属しています。
- 据付に必要なボルト・平ワッシャ・スプリングワッシャ・ナットは工事業者にて購入ください。
- 水平な位置に本体を据付けてください。（「4 ページ 据付場所の選定」の記載を参照してください。）



*1. ボルト (M8×60)・ナット (M8) 及び平ワッシャ (M8)・スプリングワッシャ (M8) は工事業者にて購入ください。（参考: 締付トルク 11~14N・m）

ボルトは鋼種区分・強度区分 A2-70 を使用してください。

*2. ツーホールネジの締付けの際は以下の専用特殊工具を推奨します。

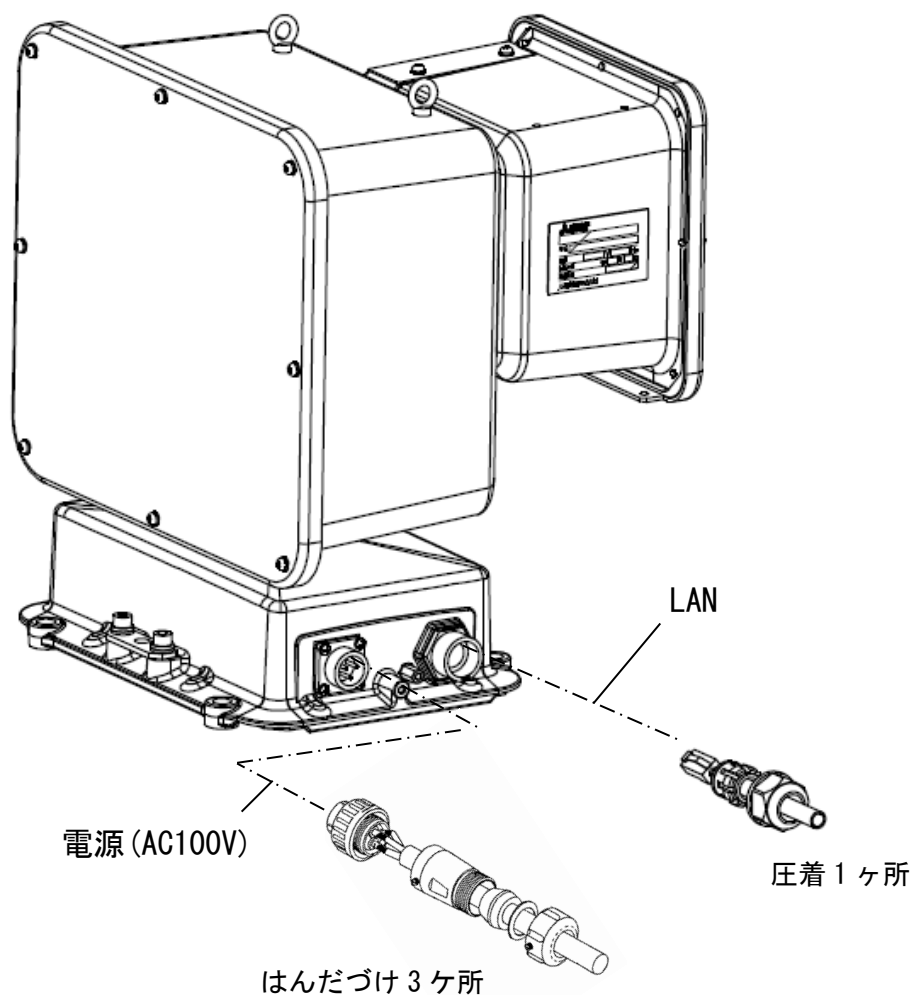
（参考: 締付トルク 0.6~0.7N・m）

ツーホールネジ用特殊ドライバ・・・メーカー: NBK、型名: SRD-6.35

ツーホールネジ専用ビット・・・メーカー: NBK、型名: SRTB-4

本体へのコネクタの接続

- 下図を参照して、各コネクタを接続してください。
- 各コネクタは奥まで挿入し、しっかりとねじを締めてください。防水不良になるおそれがあります。
- 電源コネクタは最後に接続してください。コネクタに AC100V が通電している場合、ただちに旋回動作を開始し、危険です。



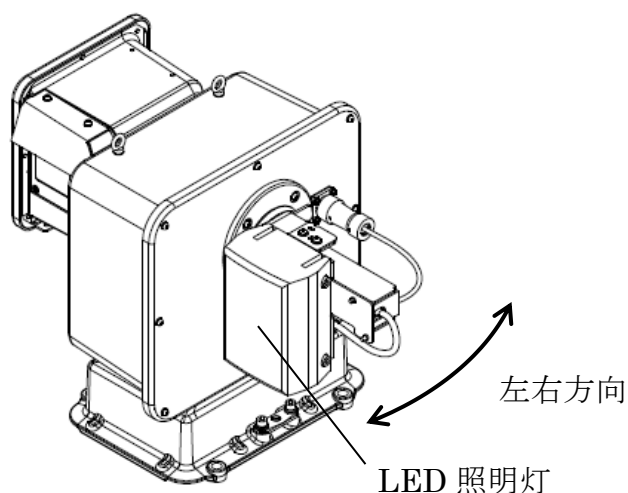
	接続ケーブル	適合コネクタ	メーカー	備考
電源	CV 2mm ² -3C	NJW-203-PF12	七星科学 (株) 製	標準付属
	CVV 2mm ² -3C	NJW-203-PF10	七星科学 (株) 製	工事業者購入
LAN	CAT5E φ7.8~φ11.8	MP588 (ノシールドタイプ)	PANDUIT	標準付属
	CAT5E φ7.8~φ11.8	MPS588 (シールドタイプ)	PANDUIT	工事業者購入

※注意

- 電源ケーブルのシールド部は、ノイズ対策のために電源側で接地してください。
- シールドケーブルを使用できない場合は、配管工事を実施してください。

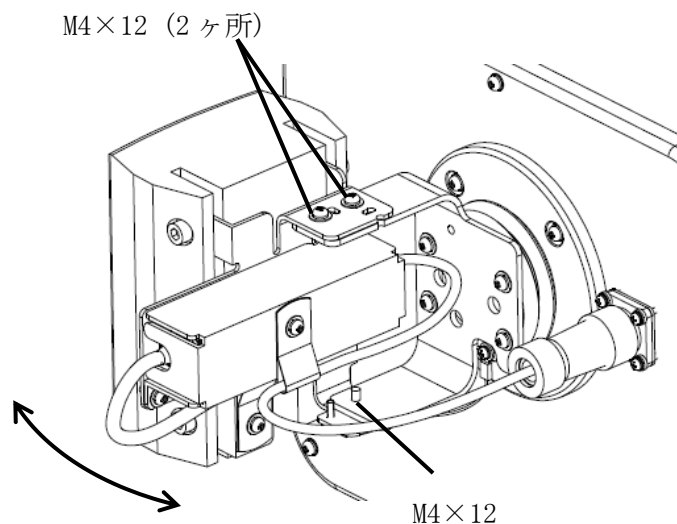
LED 照明灯の角度調節

- 据置き照明型 (NC-7300(L))、天吊り照明型 (NC-7310(L)) モデルには LED 照明灯が搭載されています。
- LED 照明灯は出荷時にカメラ光軸と LED 光軸が平行になるように調整されています。現地状況により LED 照明灯の角度を再調整する場合、下図を参照して調整してください。



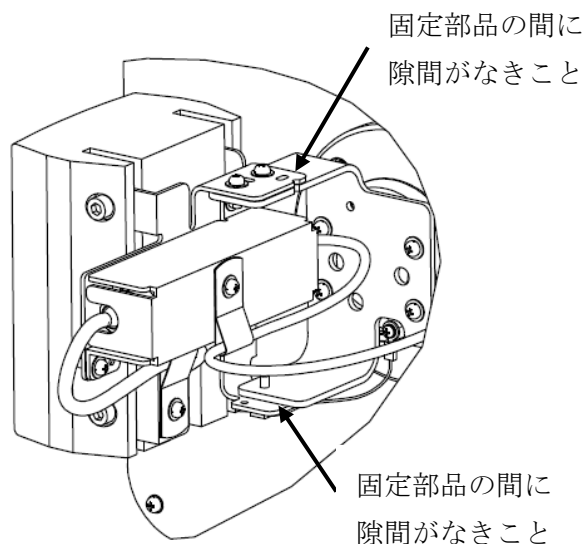
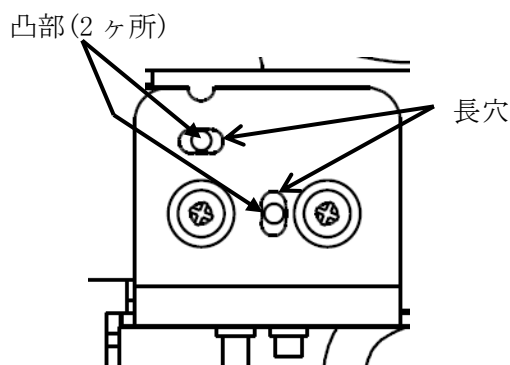
■ 左右方向角度調整方法

1. 固定ネジ (M4×12、3ヶ所) を緩めてください。ボルトをすべて外さずに作業を行ってください。
2. 矢印の方向に LED 照明灯を回転させ適度な角度で固定ネジを仮締めしてください。
3. 固定ネジを本締めしてください。
締付けトルク : 1.46 (1.23-1.66) N・m



注意

1. 固定ネジを締付ける際に下図に示す凸部 (2ヶ所) が長穴にはまっていることを確認ください。
2. 固定ネジを締付した後に下図に示す部品の上に隙間がないことを確認ください。



据付工事後の確認

据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら、必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

● 安全性に係わる事項

No.	項目	判定
1	金属類や燃えやすいものを内部に入れていないか。	YES NO
2	製品の上に物を置いていないか。	YES NO
3	LAN ケーブル、電源ケーブルは指定のものを使用しているか。	YES NO
4	ケースをはずしたり、改造したりしていないか。	YES NO
5	衝撃、振動のある所に設置していないか。	YES NO
6	腐食性ガスが発生する地域に設置していないか。	YES NO
7	重塩害・塩害地域に設置していないか。 (耐重塩害仕様・耐塩害仕様機種を除く)	YES NO
8	飛沫地域に設置していないか。	YES NO
9	据付場所は、カメラの質量に十分耐えられるか。	YES NO
10	据付場所に合った据付ネジを使用しているか。	YES NO
11	安全ワイヤを取り付けているか。	YES NO
12	カメラや制御端末等の接続機器に接続したコネクタが抜けることはないか。	YES NO
13	ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしていないか。	YES NO
14	ケーブル接続部のコネクタは、しっかりと取付けられているか。	YES NO
15	ケーブル加工は、きちんと行われているか。	YES NO
16	水平、垂直旋回範囲内に障害物がないか。	YES NO

● 性能・機能に係わる項目

No.	項目	判定
1	使用場所の周囲温度、湿度は規格内か。	YES NO
2	使用電源は AC90～110V の範囲内か。	YES NO
3	LAN ケーブル長は、100m を超えていないか。	YES NO
4	照明型 (NC-7300(L)/7310(L)) モデルの LED 照明灯の角度を調整したか。	YES NO

試運転

- 試運転は、お客様及び販売店の立ち会いのもとで行ってください。
- 制御端末側からカメラ、回転台の動作を確認してください。別冊の取扱説明書に基づいて、操作手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店からご説明ください。特に、「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。

設定について

本機の設定は、MEL00K3 レコーダーから、または、ネットワーク経由で Web ブラウザを使用して行います。

—注—

機能を活用するためには MEL00K3 レコーダーからの各種設定が必要となります。設定については、お求めの販売店にご相談ください。

Web ブラウザによる設定

■ 設定を行う前に

Web ブラウザを使用した本機の設定方法について説明を行います。

断りがなければ、設定をはじめて行う場合 及び 工場出荷状態（初期値）に戻した状態での説明を行います。既に設定を行った場合は、設定値が異なる場合がありますが、本手順を参考にして設定を行ってください。

なお、本設定は Microsoft Internet Explorer11 を使用して行うものとします。

その他のブラウザにおいては動作保証いたしませんので、ご了承ください。

—注—

Web ブラウザによる設定内容は、以下のとおりです。

- ・ システム制御 初期化、ログ取得、再起動
- ・ パスワード設定 管理者用)、ファームウェア(カメラプログラム書き込み
- ・ 時刻設定 UTC との時差、時刻表示フォーマット、サマータイム、
SNTP サーバアドレス、手動設 定時刻設定
- ・ 本体ネットワーク カメラ本体 IP アドレス、ポート番号設定

■ ログイン画面

Web ブラウザを起動し、URL 欄(アドレス部分)に本装置の IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。
(下図のログイン画面を表示されます。)

ここでは、例として初期状態での IP アドレス(192.168.1.1)を使用します。

ログイン画面が表示されましたら、「パスワード」を入力してください。

なお、工場出荷状態では、「パスワード」は「admin」に設定されています。



(注 1) 2人以上での同時操作は出来ませんのでご注意ください。

(注 2) パスワードは半角英数字で 8 文字までの文字列です。

「パスワード」を入力したら、**ログイン** ボタンを押してください。
設定内容と異なる場合は下記のように表示されます。



正常にログインできると、下図の画面が表示されます。

The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying `http://192.168.1.1/html/top.html`. The browser's address bar also shows the page title "本体ネットワーク" (Main Network). The browser's menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "お気に入り(A)", "ツール(T)", and "ヘルプ(H)".

The web interface has a header area with "NC-7300" on the left, "システム" and "ネットワーク" in the center, and "管理者" and "ログアウト" on the right. Below the header is the Mitsubishi Electric logo with the slogan "Changes for the Better" and the text "FW Version : Ver.04.03(2017/10/31)_c_BVER:0007". A "language setting" dropdown menu is set to "日本語".

The main content area is titled "本体ネットワーク" (Main Network). It contains a message: "設定を有効にする場合は書き込み ボタンを押してください。設定は再起動後、有効になります。" (To enable the settings, please press the Write button. The settings will be valid after a restart.)

The settings are organized into two columns:

- 製品名(表示のみ): NC-7300
- MACアドレス(表示のみ): 20:17:10:23:10:54
- IPアドレス: 192.168.1.1
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.254
- 制御ポート番号: ストリーム1 (dropdown menu), 27000 (text input)
- LSDポート番号: 28000 (text input)
- Webポート番号: 80 (text input)

At the bottom right of the settings area, there are two buttons: "再起動" (Restart) and "書き込み" (Write).

The footer of the page contains the text "(C) 2017 Mitsubishi Electric Corporation".

■ システム制御画面

システム制御では、初期化、ログ取得、再起動を行います。

NC-7300 システム ネットワーク 管理者 ログアウト

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better
FW Version : Ver.04.03(2017/10/31)_c_BVER:0007

language setting 日本語

システム制御 パスワード設定 ファームウェア 時刻設定

システム制御

初期化
設定は再起動後、有効になります。

ネットワーク機能初期化 SCENE全初期化 全初期化

通常店内 選択SCENE初期化

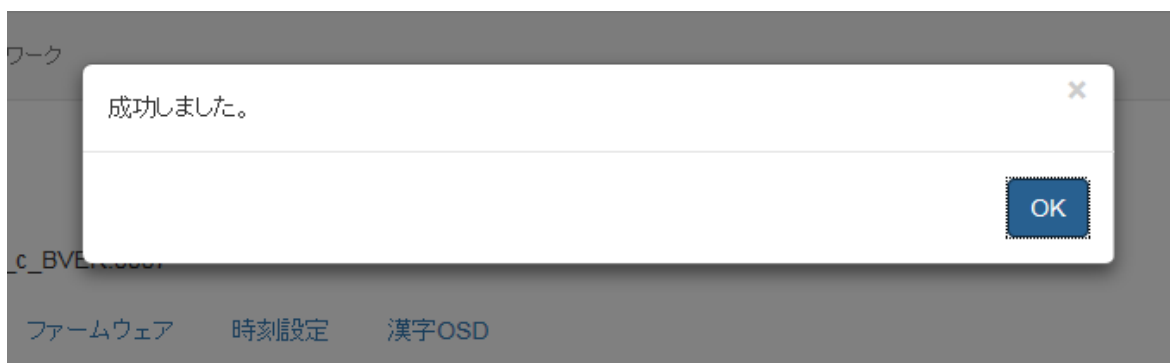
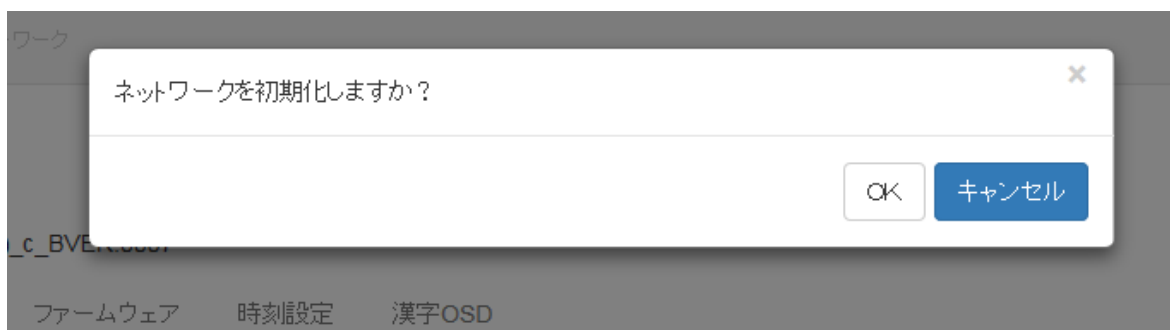
ログ
ログ取得

システム再起動
再起動

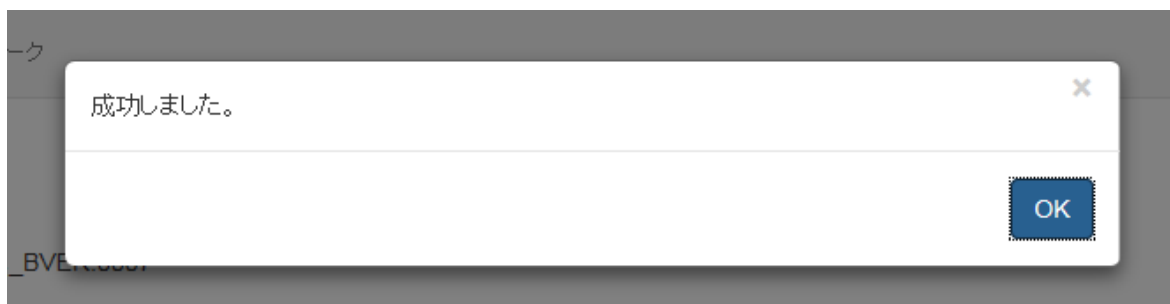
(C) 2017 Mitsubishi Electric Corporation

初期化	ネットワーク初期化ボタン	ネットワークの初期化を行います。 (注 1) 初期化の設定は、再起動後有効になりますのでご注意ください。
	全シーン初期化ボタン	全シーンの初期化を行います。 (注 2) 初期化の設定は、再起動後有効になりますのでご注意ください。
	全初期化ボタン	カメラ全体の初期化を行います。 (注 3) 初期化の設定は、再起動後有効になりますのでご注意ください。
	選択シーン初期化ボタン	プルダウンリストで選択したシーンのみ初期化を行います。シーンの選択は、プルダウンメニューから選択してください。 <初期値：屋外> <div data-bbox="970 533 1342 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 通常店内 USER2 USER3 逆光強い環境 屋外 ATM 駅ホーム 暗い屋内 </div> (注 4) 初期化の設定は、再起動後有効になりますのでご注意ください。
ログ	ログ取得ボタン	カメラのログ取得を行います。拡張子は .tar.gz で保存されます。保存フォルダはブラウザのダウンロード操作に従います。
システム再起動	再起動ボタン	カメラの再起動を行います。

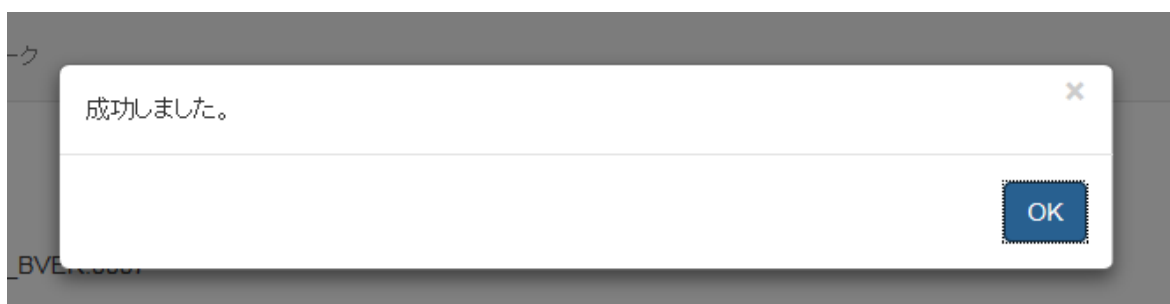
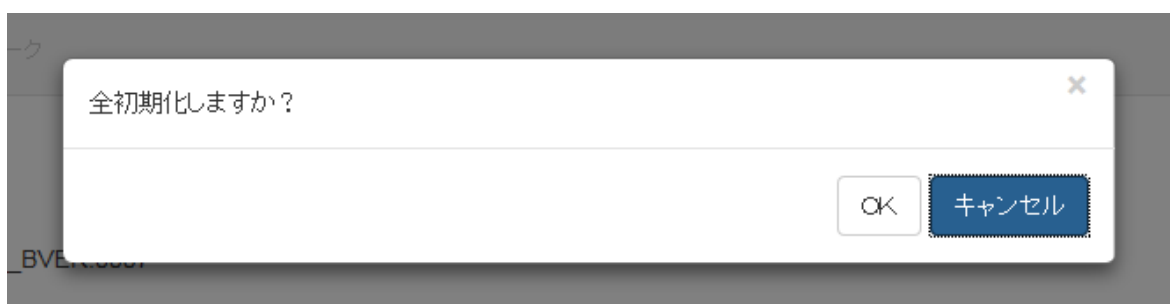
ネットワークの初期化ボタンを押下すると、以下の確認画面が表示されますので、「OK」を選択してください。ネットワークの初期化が成功した場合は、通知画面が表示されますので、「OK」を選択し、画面を閉じてください。なお、設定の反映には再起動が必要です。再起動については 27 ページで説明を行います。



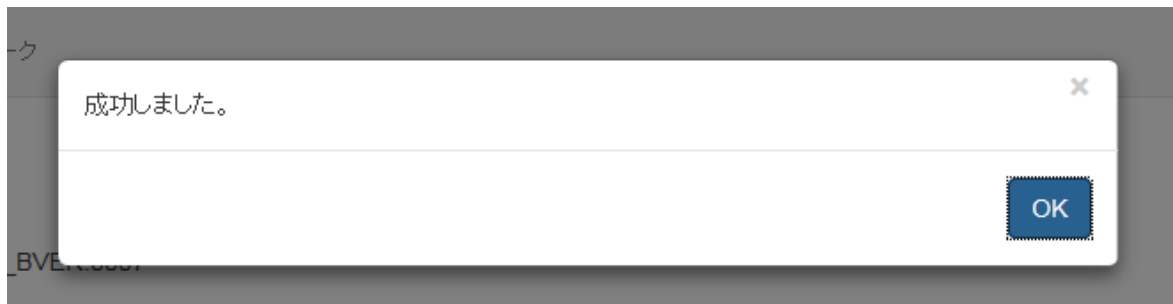
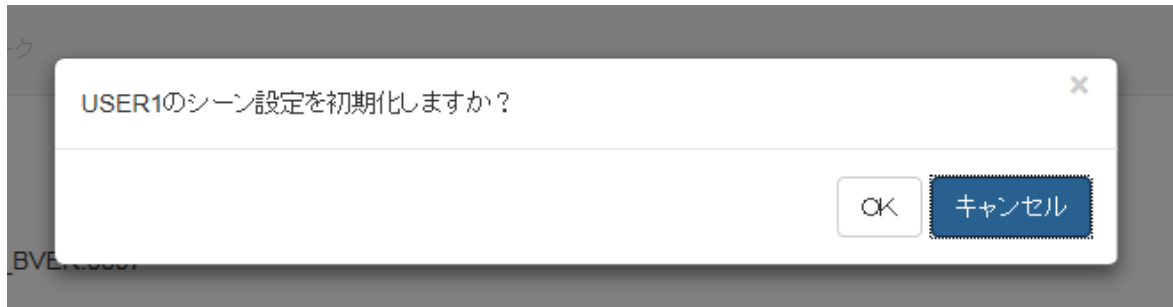
全シーン初期化ボタンを押下すると、以下の確認画面が表示されますので、「OK」を選択してください。全シーンの初期化が成功した場合は、通知画面が表示されますので、「OK」を選択し、画面を閉じてください。設定の反映には再起動が必要です。再起動については 27 ページで説明を行います。



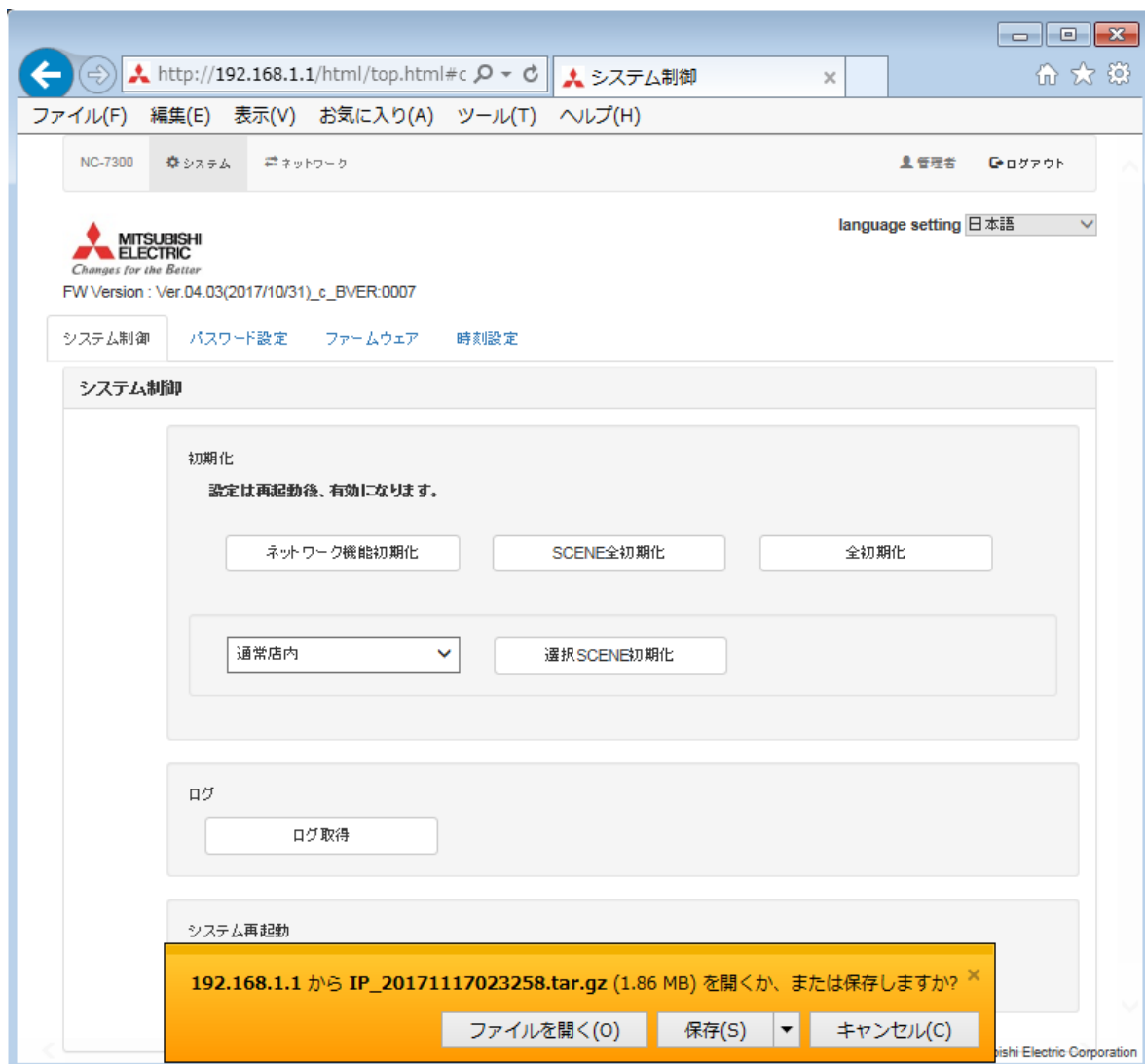
全初期化ボタンを押下すると、以下の確認画面が表示されますので、「OK」を選択してください。全初期化が成功した場合は、通知画面が表示されますので、「OK」を選択し、画面を閉じてください。設定の反映には再起動が必要です。再起動については 27 ページで説明を行います。

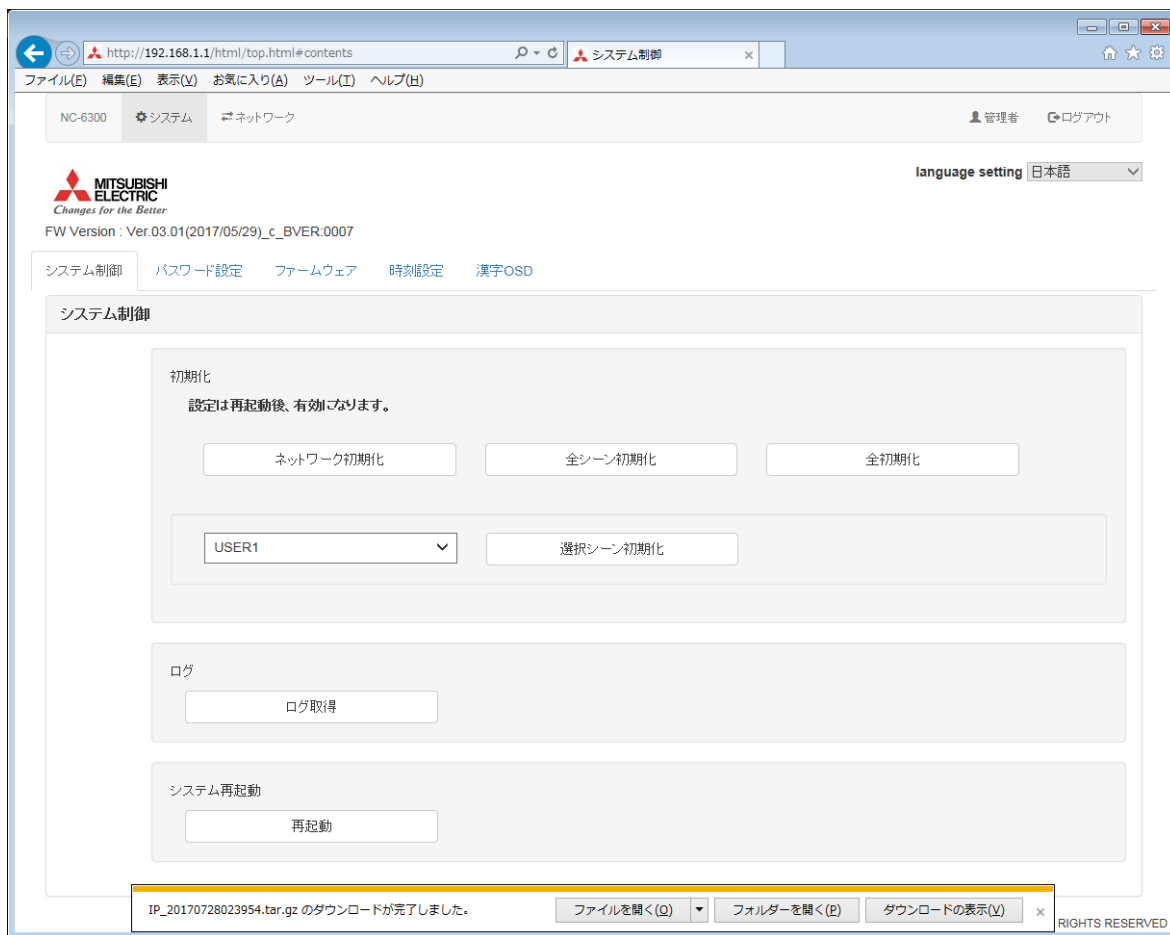


プルダウンメニューで選択し、**選択シーン初期化**ボタンを押下すると、以下の確認画面が表示されますので、「OK」を選択してください。選択シーン初期化が成功した場合は、通知画面が表示されますので、「OK」を選択し、画面を閉じてください。設定の反映には再起動が必要です。再起動については 27 ページで説明を行います。



ログ取得ボタンを押下すると、ログ取得が開始されます。ログ取得完了後、ログを保存するか聞かれるので「保存」を選択し、ダウンロードを行ってください。ダウンロード完了後、ダウンロード完了を通知する画面が表示されるので、「フォルダを開く」を選択し、ファイルの場所を確認し画面を閉じてください。

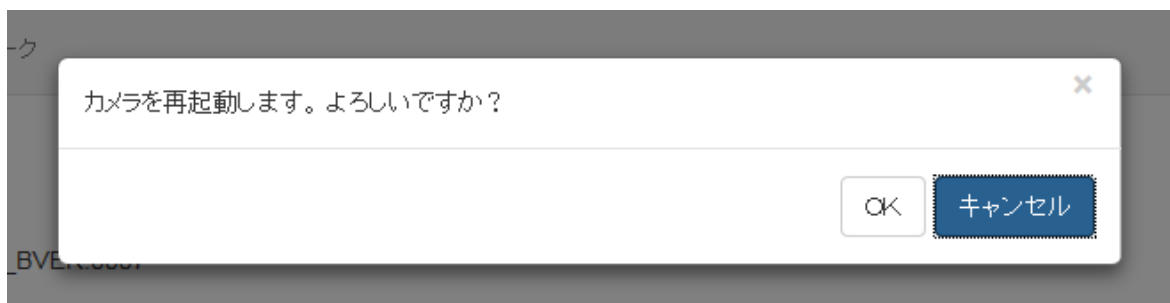




再起動ボタンを押下すると、確認画面が表示されますので、「OK」を選択してください。選択後、再起動が開始されます。再起動には、2分程度かかります。初期化完了後、ログイン画面が表示されるので、再度ログインを行ってください。

なお、ネットワーク初期化、全初期化を実施した場合など、3分を越えても表示が更新されない場合、URL欄（アドレス部分）に本装置の IP アドレスを入力し、ログイン画面を表示させてから、再度ログインを行ってください。

また、本機は、再起動の前後でフォーカスがずれる場合があります。フォーカスがずれた場合はオートフォーカスもしくは手動フォーカスにてフォーカスを合わせてください。



再起動中

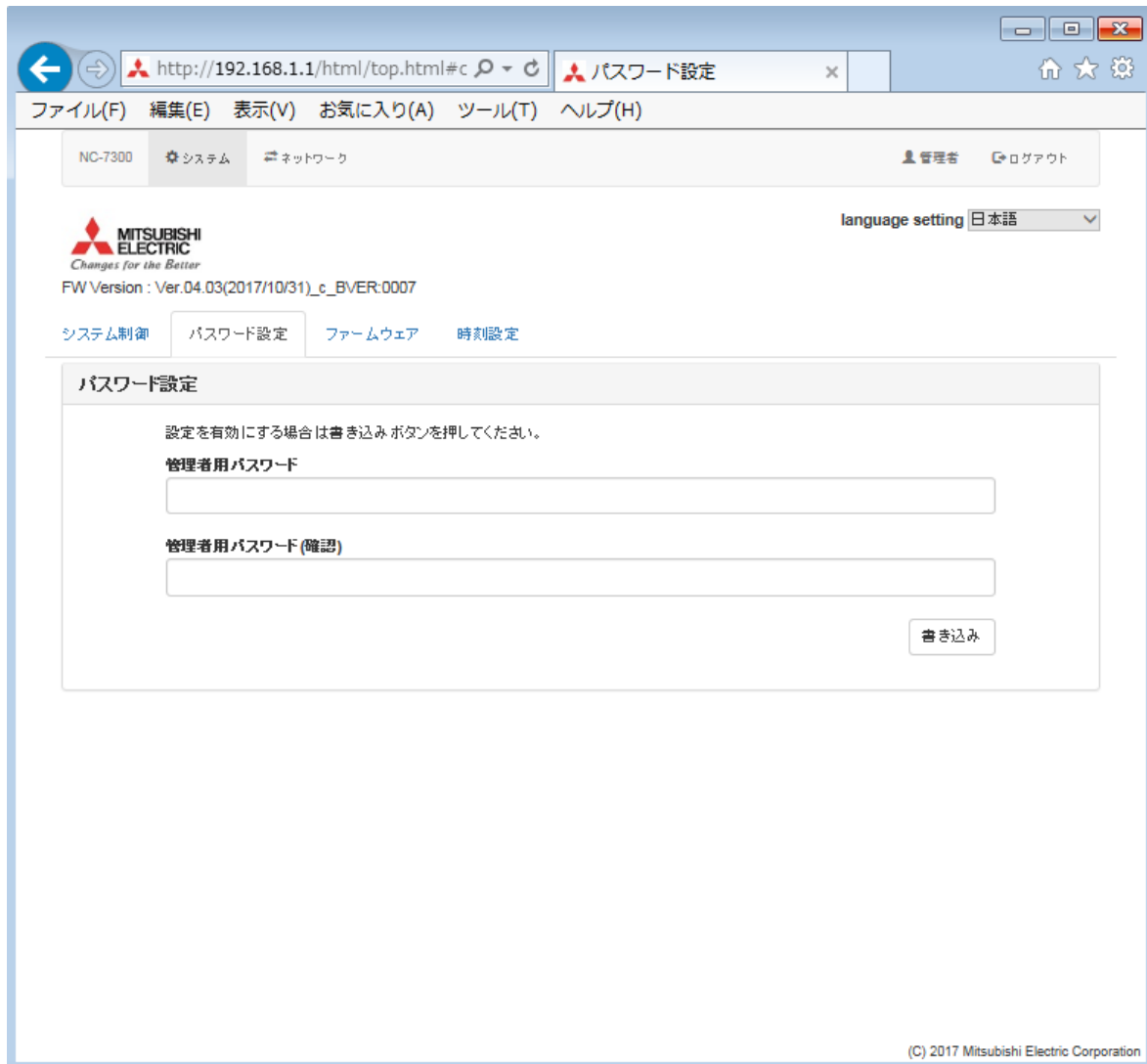
再起動中です。再起動後にログイン画面の再表示を行います。

ネットワークの通信異常が発生した場合は以下の画面が表示されます。通信状況をお確かめください。

The screenshot displays the control interface for the HM-7000 system. At the top, there are navigation tabs for 'システム' (System) and 'ネットワーク' (Network). The user is logged in as '管理者' (Administrator) and can log out. The language is set to '日本語' (Japanese). The interface shows a red error message: '通信に失敗しました。' (Communication failed). Below this, there are sections for '初期化' (Initialization) with buttons for 'ネットワーク初期化' (Network Initialization), '全シーン初期化' (All Scenes Initialization), and '全初期化' (All Initialization). There is also a dropdown menu for 'USER1' and a '選択シーン初期化' (Selected Scene Initialization) button. The 'ログ' (Log) section has a 'ログ取得' (Get Log) button. The 'システム再起動' (System Restart) section has a '再起動' (Restart) button.

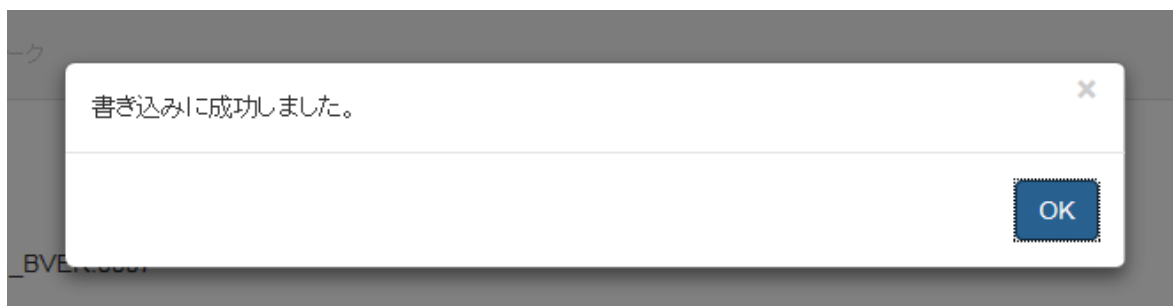
■ パスワード設定画面

パスワード設定では、管理者用のパスワードの設定を行います。



パスワード設定	管理者用パスワード	入力文字は半角英数字。最大 8 文字まで入力可能です。
	管理者用パスワード (確認)	入力文字は半角英数字。最大 8 文字まで入力可能です。
	書き込みボタン	パスワードの設定を有効にします。

パスワードの書き込みが成功した際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じてください。



パスワードの書き込みが失敗した際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ通信状況をお確かめください。



パスワード設定

設定を有効にする場合は書き込みボタンを押してください。

通信に失敗しました。

管理者用パスワード
.....

管理者用パスワード(確認)
.....

書き込み

パスワードが不一致の際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択後、再度パスワード設定を行ってください。



管理者用パスワードが一致しません。

OK

半角英数字以外の文字が混入している際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択後、再度パスワード設定を行ってください。

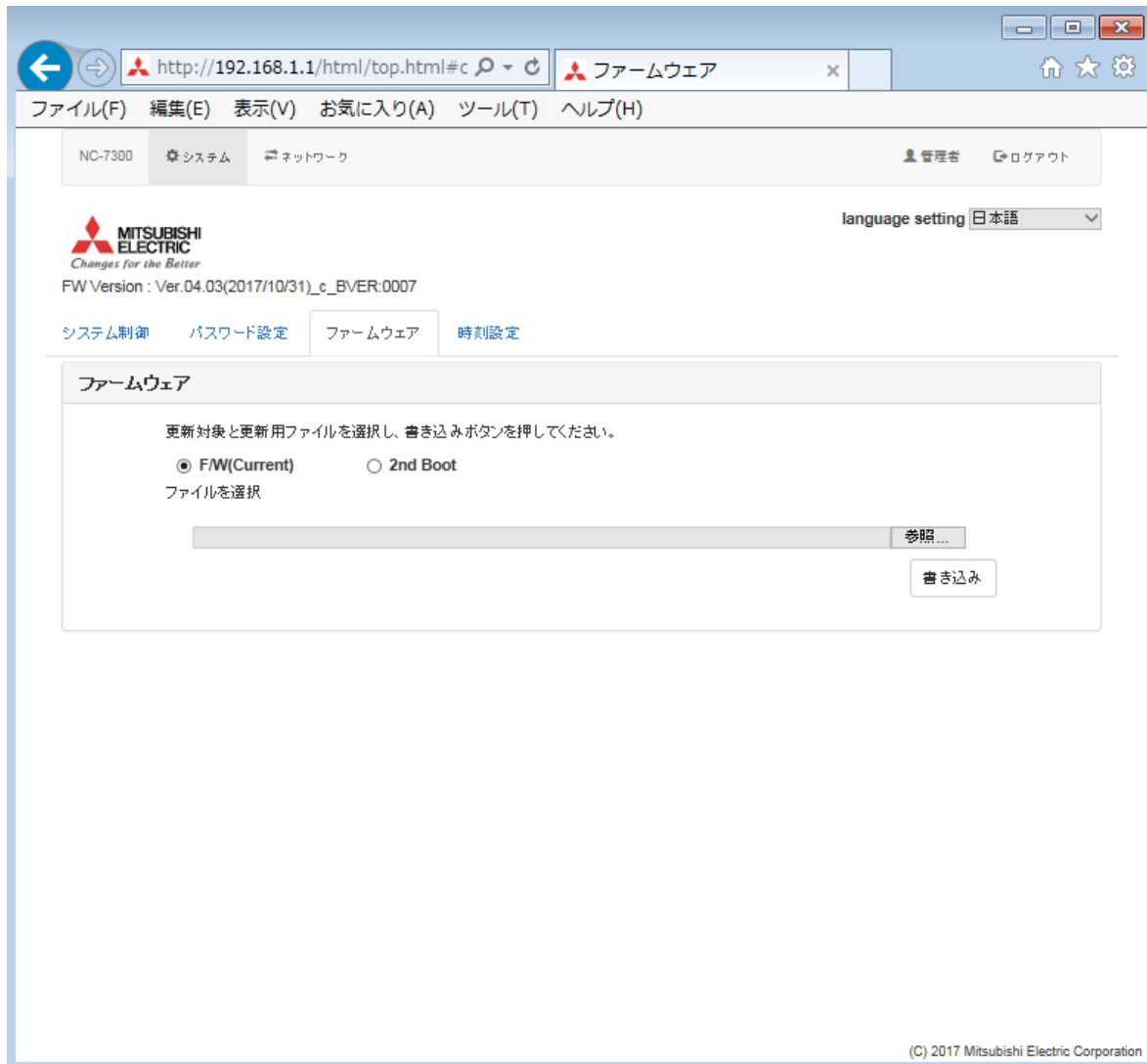


パスワードは半角英数字のみ入力できます。

OK

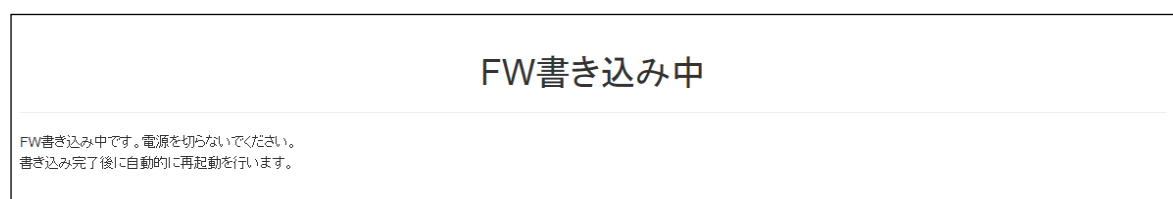
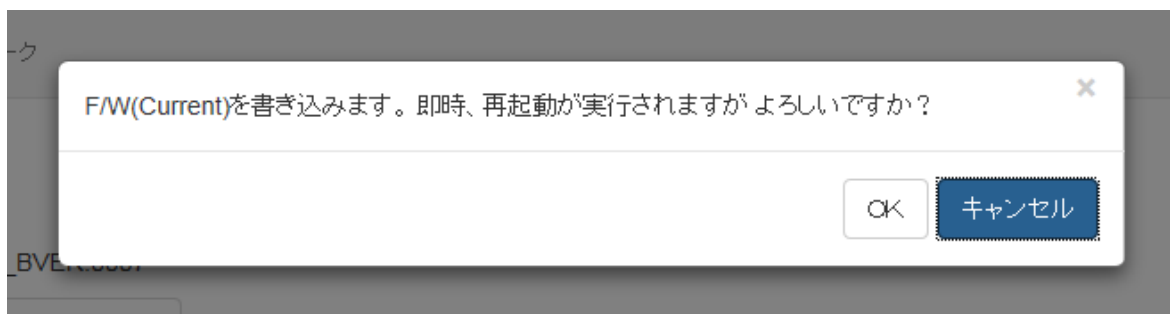
■ ファームウェア画面

ファームウェア画面では、カメラのプログラムの書き込みを行います。

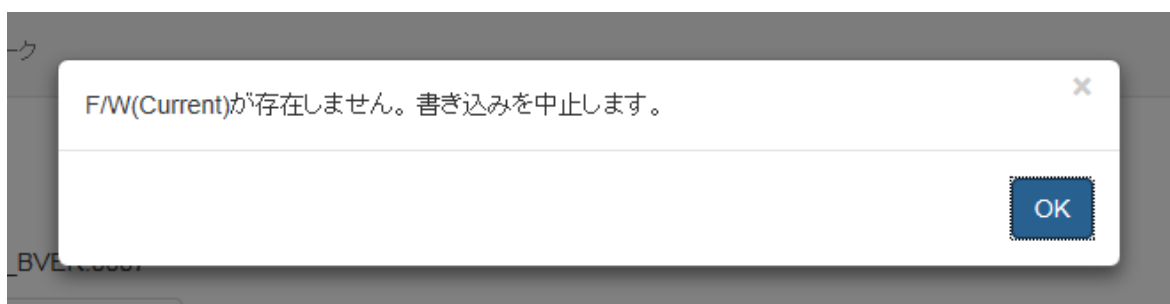


ファームウェア設定	ラジオボタン	書き込み対象の選択を行ってください。 <input checked="" type="radio"/> FW(Current) <input type="radio"/> 2nd Boot <初期値 : F/W(Current)> (注1) 2nd Boot は通常使用しないので、選択しないでください。
	テキストボックス	ファイル名を指定してください。
	参照ボタン	ファイルの参照先を指定してください。
	書き込みボタン	ファームウェアの書き込みを開始します。

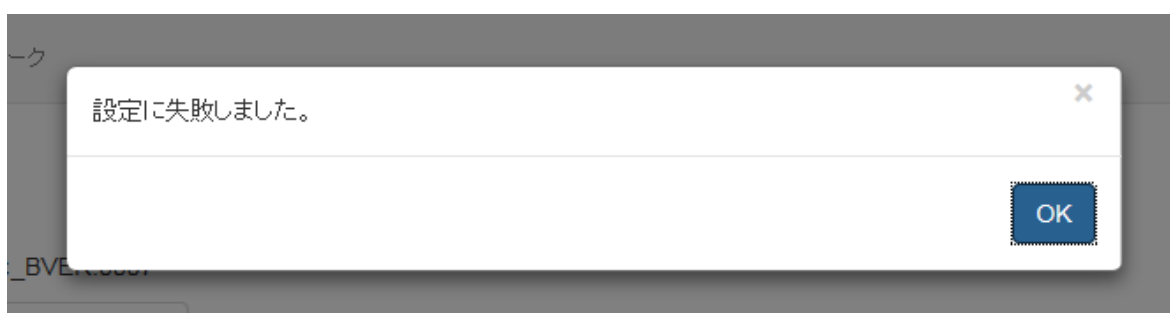
ファームウェアの指定が正しく行われた際は、以下の確認画面が表示されます。「OK」を選択後、ファームウェアの書き込みが開始されます。書き込みには、15分程度かかります。ファームウェアの書き込み完了後、ログイン画面が表示されるので、再度ログインを行ってください。
なお、20分を越えても表示が更新されない場合は、再度ログイン画面の表示からやりなおしてください。



書き込み対象ファイルが見つからない際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択後、書き込み対象のファイルを選択しなおしてください。



ファームウェアの書き込みが失敗した際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ、設定ファイルをお確かめください。



■ 時刻設定画面

時刻設定では、UTC との時差、時刻表示フォーマット、サマータイム、SNTP サーバアドレス、手動設定時刻の設定を行います。

時刻設定

設定を有効にする場合は書き込みボタンを押してください。
設定は再起動後、有効になります。

時刻設定

時差 UTC +09:00

サマータイム OFF

サマータイム開始時刻 1月 第1週 月曜日 00:00

サマータイム終了時刻 1月 第1週 月曜日 00:00

自動 手動

SNTPサーバアドレス 192.168.1.101

手動設定時刻 2017年 11月 17日 11時 26分 33秒

書き込み

カメラ現在時刻取得

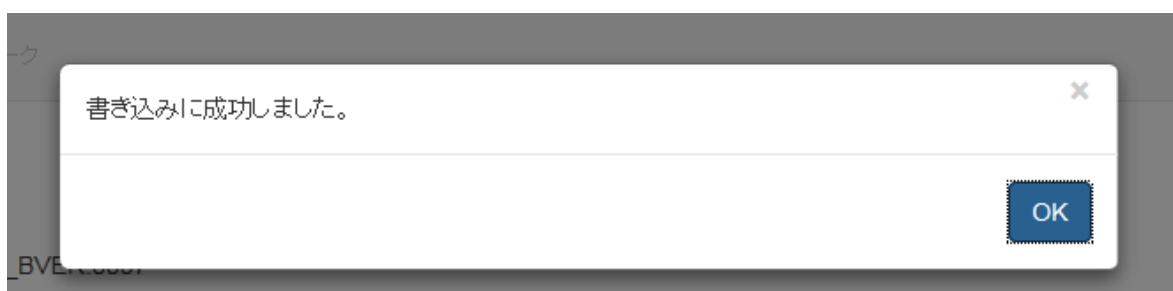
取得 2017/11/17 11:26:33

(C) 2017 Mitsubishi Electric Corporation

時刻設定	時差(時)	-12 から+14 を表示します。 <初期値 : +09>	
	時差(分)	00、15、30、45 を表示します。 時差(時) が+14、-12 の場合は 00 のみとします。 <初期値 : 00>	
	サマータイム	ON、OFF <初期値 : OFF>	
	サマータイム開始時刻	月	1月~12月 <初期値 : 3月>
		週	第1週~第4週、最終週 <初期値 : 最終週>
曜日		日曜日~土曜日 <初期値 : 日曜日>	
時間		00:00~23:00 <初期値 : 01:00>	

	サマータイム終了時刻	月	1月～12月 〈初期値：10月〉
		週	第1週～第4週、最終週 〈初期値：最終週〉
		曜日	日曜日～土曜日 〈初期値：日曜日〉
		時間	00:00～23:00 〈初期値：01:00〉
	ラジオボタン	自動	SNTP サーバを使用する場合に選択します。自動が選択された場合は手動設定時刻は入力不可とし、書き込み対象外とします。
		手動	手動設定時刻を使用する場合に選択します。手動が選択された場合は SNTP サーバ IP アドレスは入力不可とし、0.0.0.0 として書き込みます。 〈初期値：手動〉
	SNTP サーバ IP アドレス		SNTP サーバの IP アドレスを入力してください。 値域：0.0.0.0～223.255.255.255 〈初期値：0.0.0.0〉
	手動設定時刻	年	2000～2037 を入力してください。
		月	1～12 を入力してください。
		日	1～31 を入力してください。
時		0～23 を入力してください。	
分		0～59 を入力してください。	
	秒	0～59 を入力してください。	
	書き込みボタン	メモリへの書き込みを行います。	
カメラ現在時刻取得	取得ボタン	カメラの現在時刻を取得します。	
	テキストボックス	カメラの現在時刻を表示します。	

時刻設定の書き込みが成功した際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じてください。



ネットワーク通信異常が発生し、時刻設定の書き込みが失敗した際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ通信状況をお確かめください。

時刻設定

設定を有効にする場合は書き込みボタンを押してください。
設定は再起動後、有効になります。

通信に失敗しました。

時刻設定

時差 UTC :

サマータイム

サマータイム開始時刻

サマータイム終了時刻

自動 手動

SNTPサーバIPアドレス

手動設定時刻 年 月 日 時 分 秒

カメラ現在時刻取得

■ 本体ネットワーク画面

本体ネットワークでは、カメラ本体の IP アドレス、ポート番号の設定を行います。

The screenshot shows a web browser window with the URL `http://192.168.1.1/html/top.html#...`. The page title is "本体ネットワーク" (Main Network). The browser's menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "お気に入り(A)", "ツール(T)", and "ヘルプ(H)".

At the top of the page, there is a navigation bar with "NC-7300", "システム", and "ネットワーク" tabs. On the right, there are links for "管理者" (Administrator) and "ログアウト" (Logout), and a "language setting" dropdown menu set to "日本語".

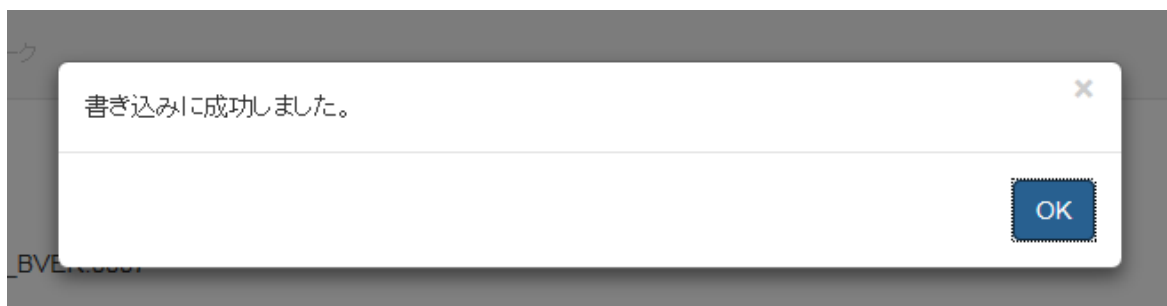
The main content area is titled "本体ネットワーク" and contains the following information:

- MITSUBISHI ELECTRIC logo and tagline "Changes for the Better".
- FW Version: Ver.04.03(2017/10/31)_c_BVER:0007
- Instruction: "設定を有効にする場合は書き込みボタンを押してください。設定は再起動後、有効になります。"
- Fields for network configuration:
 - 製品名(表示のみ): NC-7300
 - MACアドレス(表示のみ): 20:17:10:23:10:54
 - IPアドレス: 192.168.1.1
 - サブネットマスク: 255.255.255.0
 - デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.254
 - 制御ポート番号: ストリーム1 (dropdown), 27000 (input)
 - LSDポート番号: 28000 (input)
 - Webポート番号: 80 (input)
- Buttons: "再起動" (Restart) and "書き込み" (Save).

At the bottom right, there is a copyright notice: "(C) 2017 Mitsubishi Electric Corporation".

本体ネットワーク	製品型名		製品型名を表示します。 「NC-7300」、「NC-7310」、「NC-7300(L)」、「NC-7310(L)」
	MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。
	IP アドレス		0.0.0.0~255.255.255.255 を入力してください。 IPv4 形式以外は設定できません。 <初期値 : 192.168.1.1>
	サブネットマスク		0.0.0.0~255.255.255.255 を入力してください。 IPv4 形式以外は設定できません。 <初期値 : 255.255.255.0>
	デフォルトゲートウェイ		0.0.0.0~255.255.255.255 を入力してください。 IPv4 形式以外は設定できません。
	制御ポート設定	ストリーム 1	設定対象ストリーム ID を変更するごとに、ストリーム ID に対応した制御ポート番号が表示されます。 <初期値 : 27000>
		ストリーム 2	設定対象ストリーム ID を変更するごとに、ストリーム ID に対応した制御ポート番号が表示されます。 <初期値 : 27001>
		ストリーム 3	設定対象ストリーム ID を変更するごとに、ストリーム ID に対応した制御ポート番号が表示されます。 <初期値 : 27002>
		ストリーム 4	設定対象ストリーム ID を変更するごとに、ストリーム ID に対応した制御ポート番号が表示されます。 <初期値 : 27003>
		ストリーム 5	設定対象ストリーム ID を変更するごとに、ストリーム ID に対応した制御ポート番号が表示されます。 <初期値 : 27004>
	LSD ポート番号		1024~65535 を入力してください。 ※制御ポート、LSD ポート、Web ポートでポート番号が重複しないこと <初期値 : 28000>
	Web ポート番号		80、1024~65535 を入力してください。 ※制御ポート、LSD ポート、Web ポートでポート番号が重複しないこと <初期値 : 80>
	書き込み	ボタン	メモリへの書き込みを行います。
再起動	ボタン	カメラを再起動します。	

本体ネットワークの書き込みが成功した際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じてください。



ネットワーク通信異常が発生し、本体ネットワークの書き込みが失敗した際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ通信状況をお確かめください。

本体ネットワーク

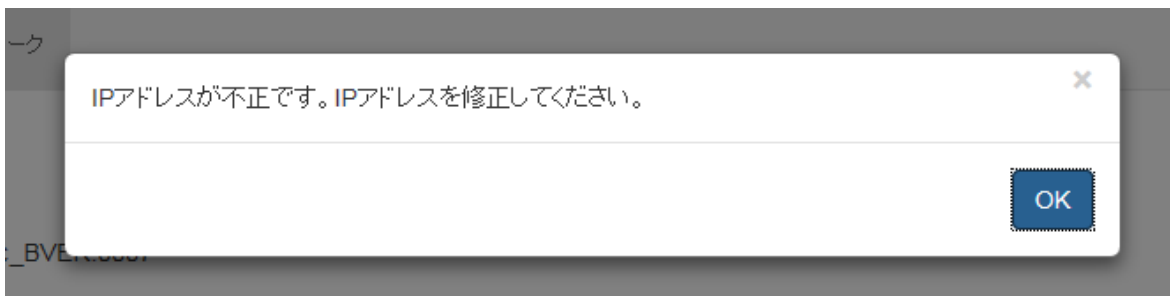
設定を有効にする場合は書き込みボタンを押してください。
設定は再起動後、有効になります。

通信に失敗しました。

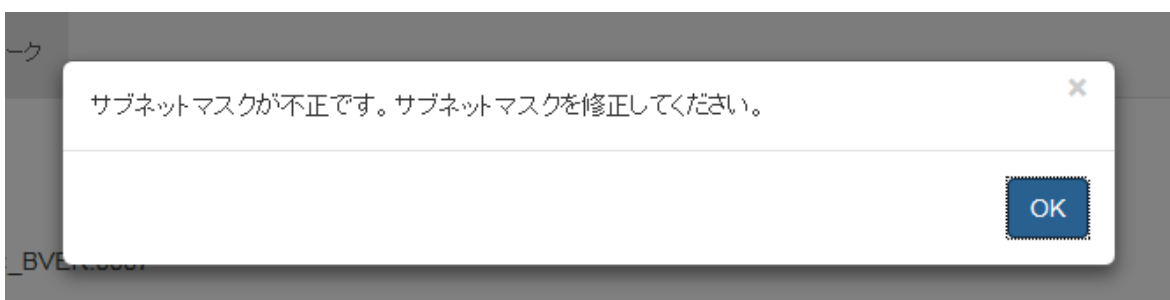
製品名(表示のみ)	NC-6300	制御ポート番号	ストリーム1 27000
MACアドレス(表示のみ)	10:4B:46:6B:70:DF	LSDポート番号	28000
IPアドレス	192.168.1.1	Webポート番号	80
サブネットマスク	255.255.255.0		
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254		

再起動 書き込み

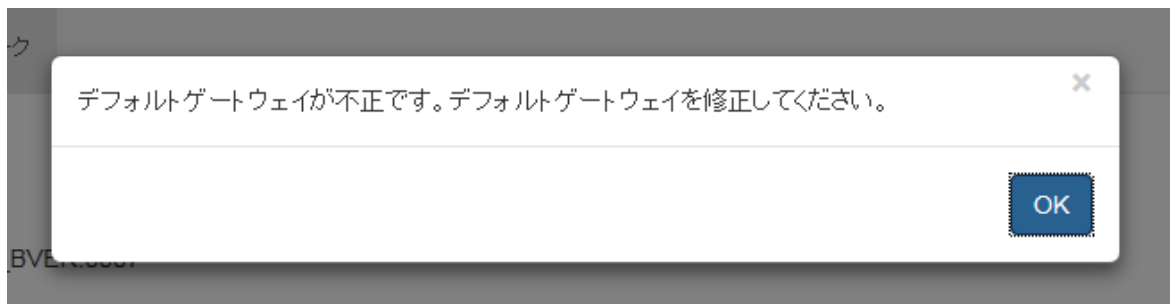
IPアドレスの入力形式に誤りがあった際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ設定内容をお確かめください。



サブネットマスクの入力形式に誤りがあった際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ設定内容をお確かめください。



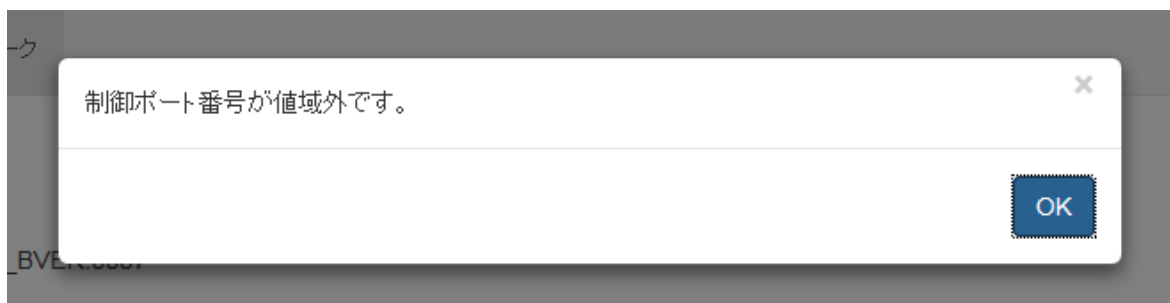
デフォルトゲートウェイの入力形式に誤りがあった際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ設定内容をお確かめください。



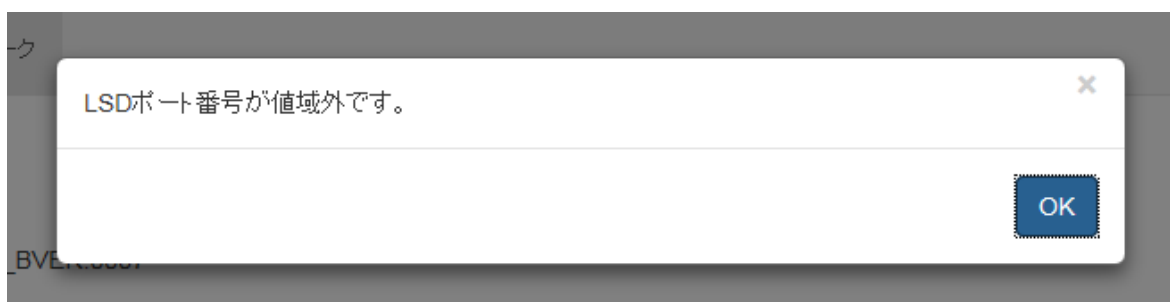
制御ポート、LSD ポート、Web ポートでポート番号で重複があった際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ設定内容をお確かめください。



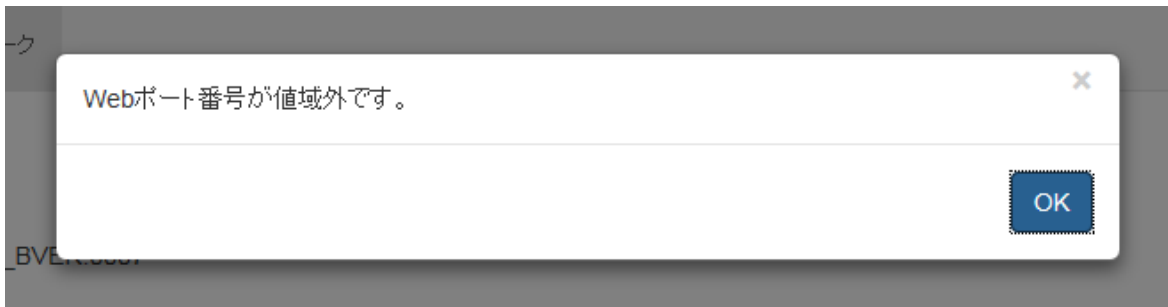
制御ポート番号が値域外であった際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ設定内容をお確かめください。



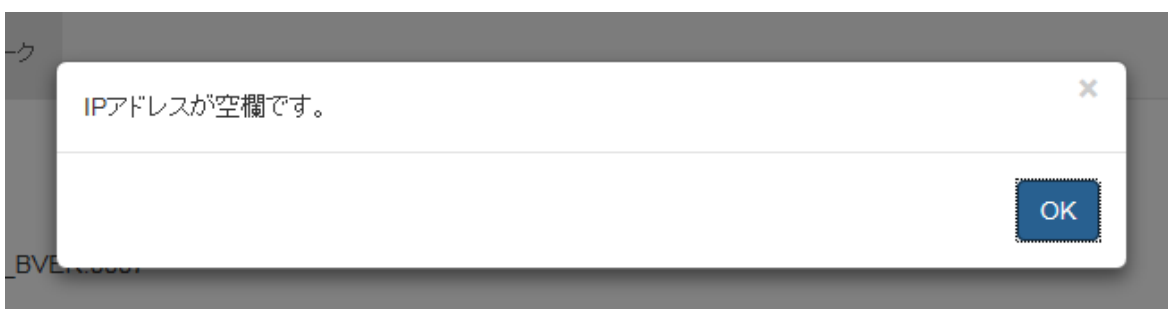
LSD ポート番号が値域外であった際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ設定内容をお確かめください。



Webポート番号が値域外であった際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ設定内容をお確かめください。



入力項目に空欄があった際は、以下の通知画面が表示されます。「OK」を選択して画面を閉じ設定内容をお確かめください。



再起動ボタンを押下すると、確認画面が表示されますので、「OK」を選択してください。選択後、再起動が開始されます。再起動には、2分程度かかります。初期化完了後、ログイン画面が表示されるので、再度ログインを行ってください。

なお、ネットワーク初期化、全初期化を実施した場合など、3分を越えても表示が更新されない場合、URL欄（アドレス部分）に本装置のIPアドレスを入力し、ログイン画面を表示させてから、再度ログインを行ってください。



再起動中

再起動中です。再起動後にログイン画面の再表示を行います。